

# 昭和 52 年 度 事 業 報 告 書

自 昭和52年 4 月 1 日

至 昭和53年 3 月31日

## (社) 日 本 病 院 会

東京都千代田区二番町 2 番地

(番町共済会館)

電話 東京 (03)265-0077

# 目 次

## ◎ 昭和52年度事業報告

第 1	庶 務	1
第 2	陳 情	1
第 3	会 議 (総会、代議員会、全理事会、常任理事会)	2
第 4	定例勉強会	10
第 5	全国勉強会	16
第 6	セミナー	27
第 7	各種委員会	35
第 8	内科臨床協議会 (Joint Conference)	48
第 9	診療録管理通信教育	50
第 10	メディカルクラーク通信教育	53
第 11	病院監督者研修会	55
第 12	病院管理視察研究会	57
第 13	海外病院視察研究会	57
第 14	会館建設発起人会委員会	58
第 15	第20回国際病院学会	59
第 16	第 3 回日本病院会学会	71
第 17	'77 国際モダンホスピタルショー	72
第 18	第 1 回日本診療録管理学会	74
第 19	第18回人間ドック学会	75
第 20	病院医療危機突破大会	76
第 21	図書出版	77
(附録)	昭和52年度勉強会委員名簿	78
	昭和52年度各種委員会委員名簿	86
	要 望 書	98

# 昭和 52 年度事業報告 (自 昭和 52 年 4 月 1 日 至 昭和 53 年 3 月 31 日)

## 第 1. 庶 務

- 1) 昭和52年度人間ドック指定病院 11病院
- 2) 昭和52年度自動化健診指定 4施設
- 3) 昭和52年11月23日 第28回比国病院協会年次大会  
左奈田会長・内藤・河野両副会長・落合委員長が出席  
同月25日 A.H.Fの会議を行い来年度の行事等を打ち合せ、国際親善と交流に成果を挙げた

## 第 2. 陳 情

- 1) 6. 6 供給体制を中心とする地域救急医療の改善方針を東京消防庁総監に提出
- 2) 6.15 日本病院会問題について石丸医務局長談話の内容について石丸医務局長に申し入れ書提出
- 3) 10.15 看護大学設置ならびに看護婦等養成施設運営費補助増額に関する要望書を厚生大臣(渡辺美智雄)に提出
- 4) 10.28 診療報酬適正引き上げに関する要望書を大蔵省・厚生省・日医・中医協および自民党政調委員・日本社会党・公明党・民社党政審委員・新自由クラブ政策委員にそれぞれ提出
- 5) 10.28 病院建物・建物附属設備の耐用年数短縮等に関する  
医療法人の税率軽減に関する  
特定の医療法人に関する  
を衆参両院議長に提出 } 請願書
- 6) 2. 6 保険外負担に係る室料差額・付添看護の要望書を厚生大臣(小沢辰男)および関係者に提出

# 第3 会 議

## 1. 総 会

### 昭和52年度定期総会

- 5.21 (土)  
全 国 町 村 会 館
- (1) 昭和51年度歳入歳出決算の承認を求める件
  - (2) 会員増強に関する件

### 昭和52年度第1回臨時総会

- 3.25 (土)  
日 本 出 版 ク ラ ブ
- (1) 昭和53年度事業計画(案)に関する件
  - (2) 定款の一部改正(案)に関する件
  - (3) 昭和53年度歳入歳出予算(案)に関する件
  - (4) 室料差額問題の取扱いに関する件
  - (5) 病院会館建設経過報告に関する件

## 2. 代議員会

### 昭和52年度定期代議員会

- 5.21 (土)  
全 国 町 村 会 館
- (1) 昭和51年度歳入歳出決算の承認を求める件
  - (2) 会員増強に関する件

### 昭和52年度第1回臨時代議員会

- 6.25 (土)  
全 国 町 村 会 館
- (1) 新役員選出結果について
  - (2) 5月27日に於ける石丸医務局長の記者発表発言に関する件

### 昭和52年度第2回臨時代議員会

- 3.25 (土)  
日 本 出 版 ク ラ ブ
- (1) 昭和53年度事業計画(案)に関する件
  - (2) 定款の一部改正(案)に関する件
  - (3) 昭和53年度歳入歳出予算(案)に関する件
  - (4) 室料差額問題の取扱いに関する件
  - (5) 病院会館建設経過報告に関する件

## 3. 全理事会

### 第1回全理事会

- 5.21 (土)  
全 国 町 村 会 館
- (1) 昭和51年度歳入歳出決算の承認を求める件
  - (2) 会員増強に関する件

### 第2回全理事会

- 6.25 (土)  
全 国 町 村 会 館
- (1) 新役員選出結果について
  - (2) 5月27日における石丸医務局長の記者発表発言に関する件



### 第3回全理事会

9.3(土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 事務局長任免に関する件
- (2) 各種委員会設置の件
- (3) 全国公私病院連盟退会に関する件
- (4) 病院会館建設計画に関する件
- (5) 既存建築物避難施設の整備に関する特別措置法案に関する件
- (6) 短期人間ドック実施時、胆のう造影剤としてのピロプチン使用禁止の件
- (7) 会員の入退会承認に関する件

### 第4回全理事会

2.18(土)  
番町共済会館

- (1) 昭和53年度事業計画(案)に関する件
- (2) 昭和53年度会費取扱いの一部変更に関する件
- (3) 昭和53年度収支予算(案)に関する件
- (4) 組織拡大に関する件
- (5) 会員の入退会の承認に関する件
- (6) 自動化健診施設の承認に関する件
- (7) 各種委員会の設置に関する件
- (8) 各種委員会の委員変更および追加委嘱に関する件
- (9) アジア病院連盟スタディツアーに関する件
- (10) 日本病院会公認会計士委嘱に関する件
- (11) 勉強会名称変更に関する件

### 第1回臨時全理事会

3.25(土)  
日本出版クラブ

- (1) 昭和53年度事業計画(案)に関する件
- (2) 定款の一部改正(案)に関する件
- (3) 昭和53年度歳入歳出予算(案)に関する件
- (4) 室料差額問題の取扱いに関する件
- (5) 会員の入会承認に関する件
- (6) 人間ドック実施病院の承認に関する件
- (7) 自動化健診施設の承認に関する件

## 4. 常任理事会

### 第1回常任理事会

4.2(土)  
番町共済会館

- (1) 第20回国際病院学会募金活動に関する件

- (2) 昭和52年度全理事会・代議員会・総会(決算総会)開催に関する件
- (3) 昭和52年度全国勉強会(4月～6月)担当役員に関する件
- (4) 昭和52年度各種委員会委員に関する件
- (5) 第6回診療録管理士認定証授与式に関する件
- (6) メディカルクラーク集中スクーリングについて
- (7) 福祉食品流通研究会へ助成金支出の要請について
- (8) 全国勉強会参加会費の通減について
- (9) 入会会員の承認について
- (10) 人間ドック実施病院の指定について
- (11) 病院におけるコンピュータ利用の動向調査のご協力方お願いについて
- (12) 日本医療労働組合協議会(医労協)より申し出の懇話会について
- (13) 医療団体連絡会議主催行事の賛同依頼について
- (14) 病院会館の建設について
- (15) 各県病院協会長との懇談会開催について
- (16) 中華民国医院行政協会からの会長招聘について
- (17) MEDINFO '80 後援について

## 第2回常任理事会

4.16(土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 昭和51年度事業報告に関する件
- (2) 昭和51年度歳入歳出決算の承認を求める件
- (3) セミナー等の参加費通減に関する件
- (4) 入会会員の承認について
- (5) 次回常任理事会開催について
- (6) 4月～6月の主要行事について
- (7) 国際病院学会の募金推進委員の委嘱について
- (8) 短期人間ドック質問表の監修料について
- (9) 国際病院学会ウエルカム・パーティ開会式等、関係団体長への招待について

## 第3回常任理事会

5.7(土)  
番町共済会館

- (1) 昭和51年度特別会計決算の承認に関する件
- (2) 病院建築コンサルタント設置に関する件
- (3) 入会会員の承認について

- (4) 5月21日開催する全理事会・代議員会・総会について
- (5) 病院長セミナーの日程について
- (6) 名誉院長の待遇について
- (7) 春の叙勲受賞者に対する顕彰記念品贈呈について
- (8) 日本病院会政治連盟の参議員選挙推薦候補者について

#### 第4回常任理事会

6. 4(土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 昭和52年度代議員に関する件
- (2) 昭和52年度理事立候補者について
- (3) 6月25日の役員選挙に関する件
- (4) 事務局員給料表設定の件
- (5) 入会会員の承認について
- (6) 会員名簿の作成について

#### 第5回常任理事会

7. 9(土)  
番町共済会館

- (1) 昭和52年度役員の業務分掌に関する件
- (2) 各種委員会の統廃合に関する件
- (3) 昭和52年～55年の各種委員会の正・副委員長および委員に関する件
- (4) 昭和52年度全国勉強会担当役員に関する件
- (5) 昭和52年度各勉強会の顧問について
- (6) 7月22日～23日の病院長セミナーと常任理事会開催日について
- (7) ドック実施指定病院の承認について
- (8) 入会会員の承認について
- (9) 事務局強化に関する件
- (10) 定款・その他諸規定等検討委員会設置に関する件
- (11) 公的病院部会・私的病院部会について

#### 第6回常任理事会

7.23(土)  
兵庫県・  
六甲オリエンタルホテル

- (1) 役員の業務分掌の細部検討に関する件
- (2) 7月以降各地勉強会の担当役員に関する件
- (3) 定款・諸規定等検討委員会のメンバー委嘱に関する件
- (4) 入退会員の承認に関する件
- (5) 第5回(昭和54年度)日本病院会学会会長について
- (6) 第2回日本病院会診療録管理学会について
- (7) 委員会顧問の顧問料について

(8) 事務局員増強について

## 第7回常任理事会

8.6(土)

東京トラック事業健保会館

- (1) 役員の業務分掌の細部検討に関する件
- (2) 事務局長任免に関する件
- (3) 次回全理事会開催日に関する件
- (4) 各種委員会の副委員長・委員委嘱に関する件
- (5) 病院建築コンサルタントに関する件
- (6) 定款等諸規定の検討委員会のメンバーに関する件
- (7) 病院給食のために輸入牛肉の特別枠に関する件
- (8) 全国公私病院連盟への申入書に対する同連盟からの照会に関する件
- (9) 公的関係の理事1名追加に関する件
- (10) 組織強化についてのアンケートに関する件
- (11) 人間ドック実施指定病院の承認に関する件
- (12) 入退会の承認に関する件

## 第8回常任理事会

8.20(土)

東京トラック事業健保会館

- (1) 全理事会開催の件
- (2) 病院給食のための輸入牛肉の特別枠に関する件
- (3) 第一四半期会計監査結果に関する件
- (4) 特別会計(基本財産・退職給与積立金)設置に関する件
- (5) 既存建築物避難施設整備促進懇談会(仮称)設置に関する件
- (6) 入退会の承認に関する件
- (7) 定款等諸規定検討委員会の委員追加に関する件
- (8) 病院管理研究所と本会の業務協調に対する懇談会に関する件
- (9) 副院長セミナーに関する件
- (10) 各種委員会勉強会に関する件
- (11) 予算の運用に関する件
- (12) 病院会館建設に関する件

## 第9回常任理事会

9.17(土)

番町共済会館

- (1) 全国公私病院連盟への退会届提出に関する件
- (2) 診療報酬改定要求案の検討に関する件
- (3) 診療報酬改定実現のため病院大会開催に関する件
- (4) 日本病院会公認会計士委嘱に関する件

- (5) 病院経営に係る税制改正に関する件
- (6) 病院給食実態調査に関する件
- (7) 日経メディカル誌上「日本病院会コラム欄」の記載について
- (8) 短期人間ドック胆のう造影剤使用に関する臨床予防委員会の意向について
- (9) 人間ドック指定病院に関する件
- (10) 会員の入退会に関する件
- (11) 各種委員会委員追加・異動に関する件

#### 第10回常任理事会

10.1(土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 診療報酬改定要求案に関する件
- (2) 病院大会運営に関する件
- (3) 昭和53年度予算編成に関する件
- (4) 病院管理視察研究会実施に関する件
- (5) 防災施設に係る委員会設置の件
- (6) 病院会館建設に関する件
- (7) 人間ドック実施指定病院に関する件
- (8) 自動化健診施設申告認定の件
- (9) 入会承認に関する件

#### 第11回常任理事会

10.15(土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 組織拡大に関する件
- (2) 第二四半期会計報告・同会計監査報告の件
- (3) 常任理事会懇談会開催に関する件
- (4) 病院大会提案担当者に関する件
- (5) 日本病院会政治連盟主催懇談会に関する件
- (6) 病院会館建設に関する件
- (7) 院内感染について
- (8) 防災対策委員会(仮称)委員長交代に関する件
- (9) 人間ドック実施指定病院の承認に関する件
- (10) 入退会の承認に関する件

#### 第12回常任理事会

11.5(土)  
家の光ビル会議室

- (1) 賛助会員の加入推進対策等に関する件
- (2) 管理者セミナー開催の件
- (3) 会長・副会長会議の協議に関する件

- (4) 日本診療録管理学会評議員推薦の件
- (5) 会員意識調査実施(労務委員会)の件
- (6) 人間ドック実施病院の承認に関する件
- (7) 入退会の承認に関する件

**第13回常任理事会**

11.17(木)  
八 勝 館(名古屋市)

- (1) 組織の強化拡大対策に関する件
- (2) 予算案編成に関する件
- (3) 入退会の承認に関する件

**第14回常任理事会**

12.3(土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 組織強化拡大に係る親書の案文に関する件
- (2) 昭和53年度事業計画に関する件
- (3) A・H・F のスタディツアー実施に関する件
- (4) 定款等諸規定ならびに給与改定に関する件
- (5) 日本病院会学会事務局担当者に関する件
- (6) 投薬日数の疑義について
- (7) 人間ドック料金改定について
- (8) 防災対策委員会委員委嘱に関する件
- (9) 入退会の承認に関する件

**第15回常任理事会**

12.17(土)  
家の光ビル会議室

- (1) 入退会の承認に関する件
- (2) 都道府県医師会長・病院団体長懇談会に関する件
- (3) 賛助会員入会促進に関する件
- (4) 勤務医対策に関する件
- (5) 療養担当規則第20条に対する疑義に関する件

**第16回常任理事会**

1.7(土)  
家の光ビル会議室

- (1) 都道府県医師会長・県病院協会会長合同懇談会開催に関する件
- (2) 組織拡大具体案に関する件
- (3) 賛助会員増強に関する件
- (4) 日本病院会雑誌発行部数に関する件
- (5) 入退会の承認に関する件

**第17回常任理事会**

1.21(土)  
椿 山 荘

- (1) 昭和53年度予算編成に関する件
- (2) ㈱日本病院共済会昭和53年度事業計画と職員配置に関する件

- (3) 今後の役員会の日程に関する件
- (4) 賛助会員増強に関する件
- (5) 本日の懇談会・懇親会の運営に関する件
- (6) 入退会の承認に関する件

#### 第18回常任理事会

2.4 (土)  
番町共済会館

- (1) 第三四半期会計報告に関する件
- (2) 第三四半期会計監査に関する件
- (3) 昭和53年度事業計画(案)に関する件
- (4) 昭和53年度予算(案)に関する件
- (5) 全理事会開催に関する件
- (6) 賛助会員増強拡大に関する件
- (7) 厚生省および消防庁に対する陳情書に関する件
- (8) 通信教育委員会、委員委嘱に関する件
- (9) 入会の承認に関する件

#### 第19回常任理事会

3.4 (土)  
東京トラック事業健保会館

- (1) 室料差額および付添看護の要望書に関するその後の経過に関する件(付:差額ベッド規制に関する都庁の指示について)
- (2) 定款の一部改正に関する件
- (3) 全国勉強会に関する件
- (4) 勉強会の会費に関する件
- (5) 中小病院管理委員会と管理部会の関係ならびに中小病院の定義に関する件
- (6) 賛助会員拡大に関する件
- (7) 病院における汚染処理システムに関する件
- (8) 東京病院協会と病院税制の改正請願共同実施に関する件
- (9) 今後当面の常任理事会の日程に関する件
- (10) 入会の承認に関する件

## 第4 定例勉強会

### 1. 病院診療部会

参加人員

4.19(火)	同愛記念病院	病院の再建について	29名
5.16(月)	社会福祉法人 浴風会病院	総合老人病院の運営と今後の展望について	33名
6.21(火)	東京都老人総合研究所	老化研究の現況について	33名
7.19(火)	藤沢市民病院	病歴管理の問題点	58名
8.16(火)	食糧会館	医師と看護婦の業務上の接点(看護管理部会と合同)	158名
9.20(火)	虎の門病院	医師と栄養士の関係(栄養管理部会と合同)	92名
10.18(火)	北品川総合病院(第3)	Co-Medicalのモラルアップについて	36名
12.20(火)	九段坂病院	内科外科等大クリニックに専門科名の小分けせずに総合病院として成り立つためには	15名
1.17(火)	久我山病院	久我山病院の特長とその悩み	36名
3.21(火)	東京日立病院	職域病院の現状と問題点	27名
3.22(水)	国立大蔵病院	医師の定員と診療について	19名

### 2. 医事研究会

4.20(水)	食糧会館	患者さんから見た窓口の応待	95名
6.15(水)	協和銀行市ヶ谷支店	伝票について	105名
12.14(水)	番町共済会館	医事課にとってコンピューターは本当に必要か	111名
2.15(水)	番町共済会館	レセプト点検	170名

### 3. 庶務人事研究会

5.12(木)	太陽神戸銀行	「休暇の制度と運用」そのⅠ	38名
9.22(木)	番町共済会館	「休暇の制度と運用」そのⅡ	56名
2.23(木)	番町共済会館	「職員教育の実情ともち方」 新人オリエンテーションのもち方 現任職員の教育	40名

### 4. 用度研究会

4.22(金)	東京トラック 事業健保会館	主要医薬品(薬効別)価格実態 〔アンケート〕解説・情報交換	63名
---------	------------------	----------------------------------	-----



8.19(金)	東京トラック 事業健保会館	1. リース・レンタルの利用状態 2. 医療材料の価格決定とその問題点	44名
10.20(金)	明治製菓足柄工場	抗生物質製剤工場見学と情報交換	19名
12.16(金)	番町共済会館	ユニホーム類支給について 〔アンケート〕解説・情報交換	43名
2.17(金)	番町共済会館	1. 給食材料の流通経路のいろいろ 2. 医薬品管理の帳票について	65名
<b>5. 会計経理研究会</b>			
6. 8(水)	日本赤十字社 医療センター	会計業務上におけるチェックポイント	50名
9.12(月)	佼成病院	経営分析の集計結果発表	47名
2. 8(水)	北品川総合病院	病院の近代化、病院見学	45名
<b>6. 施設研究会</b>			
4.28(木)	都立府中病院	集中冷暖房について(エネルギープラント見学)	31名
6.22(水)	番町共済会館	空調運転上の問題点	47名
11.22(火)	癌研付属病院	病院見学(新館部分見学)	29名
12.21(火)	番町共済会館	水と空気の管理問題	18名
2.22(水)	番町共済会館	病院の防火・防災対策	73名
<b>7. 労務研究会</b>			
12.13(火)	番町共済会館	(1) 低成長時代の賃金とこれからの退職金制度 (2) 国家公務員の現行給与体系の分析 1) 職種間格差の現況 2) 職種別昇給曲線 講師 伊東政一 (東洋レーバーコンサルタント)	24名
3. 9(木)	番町共済会館	非常勤医師の給与について	47名
<b>8. 看護管理部会</b>			
8.16(火)	食糧食館	医師と看護婦の業務上の接点	158名
9. 8(木)	電設健保会館	世界の看護	100名
11.10(木)	電設健保会館	シンポジウム	230名

		「卒後1～2年の実務指導をいかにするか」	
2. 2 (木)	番町共済会館	グループ討議	108名
		「病棟における実務指導」(卒後1～2年)	

## 9. 薬事管理研究会

7. 13 (水)	番町共済会館	(1) 病院の廃棄物処理について (2) 病院薬局の廃棄物について	33名
9. 13 (火)	番町共済会館	保険制度上の調剤の問題点	37名
10. 12 (水)	番町共済会館	調剤技術の評価	21名
12. 7 (水)	番町共済会館	剤形の選択	25名
2. 15 (水)	番町共済会館	麻薬管理に必要な知識 残置薬について	85名

## 10. 栄養管理部会

4. 5 (火)	番町共済会館	(1) 栄養指導料について (2) 病院における栄養業務のあり方	72名
6. 28 (火)	自治医科大学附属病院	(1) 施設並びに厨房の概況説明 (2) 院内見学 (3) 自治医大栄養業務について (4) 病院管理について (5) 質疑応答	59名
9. 20 (火)	虎の門病院	医師と栄養士の関係 (アメリカの医師と栄養士の関係) (虎の門病院の栄養部の現状)	92名
12. 5 (月)	駿河台日大病院 3階講堂	病院における栄養士と調理師の役割 (1) 病院調理師対象の通信教育に関して (2) 病院における栄養士と調理師の役割 (3) 当院の新厨房の紹介(スライドと並行して)	72名
2. 7 (火)	東京都養育院附属病院	(1) 老化と栄養 (2) 栄養科業務について (3) 施設見学	

## 11. 調理管理部会

5.11(水)	関東通信病院	(1) 各病院の調理作業上における問題点及び討論 (2) 倉敷中央病院厨房の紹介 8ミリカラー映画	32名
7.20(水)	北品川総合病院	(1) アメリカの病院における給食施設の実態 (8ミリカラー映画による紹介) (2) 座談会、質疑応答	42名
12. 5(月)	駿河台日大病院 3階講堂	病院における栄養士と調理師の役割 (1) 病院調理師対象の通信教育に関して (2) 病院における栄養士と調理師の役割 (3) 当院の新厨房の紹介(スライドと並行して)	72名
3. 8(水)	東邦大学医学部 附属大森病院	(1) 厨房の説明、後、見学 (2) 一品展示とその説明	

## 12. 診療録管理部会

5.30(月)	駿河台日大病院	病歴室見学他	43名
7. 9(土)	都立駒込病院	コンピュータと病歴室の見学	46名
10. 8(土)	国立病院医療センター	病歴室見学他	33名
1.14(土)	慶応義塾大学病院	病歴室見学他	56名

## 13. 中小病院管理部会

7. 8(金)	川崎信用金庫新城支店	地域医療の場における中小病院の一つのありかた(京浜メディカルグループの歩みとその問題点) (1) ど素人が病院経営から得たもの 講師 京浜総合病院会長 矢作 忠政 (2) 私の病院経営の考え方とその問題点 講師 京浜総合病院理事長 大野 松次 (3) 病院検査室の合理化 講師 京浜予防医学研究所常務取締役 浦部 厚美 (4) 経営上からみた検査委託について 講師 北品川総合病院財団事務長 岩佐 隆義	67名
---------	------------	---	-----

		(5) 施設見学(京浜総合病院及び京浜予防医学研究所)	
9.28(木)	第三北品川病院	(1) 51年度の救急活動	58名
		講師 東京消防庁救急管理部長	
			我妻 隆
		(2) 当院における救急医療	
		講師 北品川総合病院長	河野 稔
		(3) 施設見学(第三北品川病院)	
12. 8(木)	野村病院	(1) 予防医学と治療医学の接点	77名
		講師 野村病院長	野村 秋守
		講師 野村病院診療院長	林 博
		講師 野村病院院長補佐	秋島 勲郎
		(2) 真の意味の医薬分業について	
		講師 野村病院長	野村 秋守
		講師 中野総合病院保険課長	川上 親秀
		(3) 施設見学(野村病院)	
1.26(木)	東海病院	(1) 一般病院から腎(透析)専門病院への転換	59名
		講師 東海病院長	江本 俊秀
		(2) 透析業務の実態	
		講師 東海病院	透析 婦長
		講師 東海病院	透析 技師長
		講師 東海病院	病棟 婦長
		講師 東海病院	栄 養 士
		講師 東海病院	医事 課長
		(3) 施設見学(東海病院)	

#### 14. 放射線部会

4.15(金)	駿河台日本大学病院	医療監視の現状	26名
6.17(金)	聖路加看護大学	技師教育の問題	20名
8.19(金)	関東労災病院	放射線科職場環境の保全	28名
10.21(金)	牧田総合病院	中小病院における技師のあり方	54名
12.16(金)	番町共済会館	(1) 技師の専門化とローテーションについて	37名
		(2) I.C.R.見聞記	

## 15. 臨床検査管理部会

6.29(水)	順天堂医院階段教室	合成洗剤に関する諸問題	35名
11.25(金)	順天堂医院階段教室	病院内における臨床検査部門の管理	62名

## 16. ハウスキーピング部会

4.20(水)	番町共済会館	リネン管理の自営、外注の問題点とその解決法	25名
8.23(火)	慶応義塾大学病院	清掃について	26名
10.27(木)	聖路加国際病院	ユニホームの管理	24名
1.26(木)	聖路加国際病院	院内の清掃業務の外注委託費について	72名
3.2(木)	聖路加国際病院	院内の消毒作業について	97名

## 第5 全国勉強会

### 1. 病院診療部会

11.4～5(金～土)  
山梨県医師会館  
(98名)

(1) 特別講演「外来における医療過誤の問題」

東京オペグループ顧問弁護士 大谷 季義

(2) シンポジウム「地域医療における病院の機能」

—— 病院の機能分化と相互の連携 ——

演者 病院の立場から

石和町国保峡東病院長 渡辺 信夫

行政の立場から

山梨県厚生部長 三井 三郎

地域住民の立場から

山梨県議員 竹下 信夫

救急の立場から

甲府市医師会副会長 古明地良孝

看護の立場から

県立中央病院総婦長 依田 清子

(3) 特別講演「地域医療における病院の機能」

慶応義塾大学医学部教授 倉田 正一

(4) 病院見学

A班 山梨県立中央病院 14名

B班 石和温泉病院 特別養護老人ホーム 7名

### 2. 事務管理部会

11.4～5(金～土)  
群馬県水上温泉ホテル聚楽  
(35名)

(1) 外注はどこまでできるか

—— そのメリット・デメリット ——

(財)聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

(2) 新しい医療と病院管理上の問題点

佼成病院長 小野田敏郎

(3) シンポジウム 「各種医事紛争の事例とその対処方策」

司会 小野田敏郎

助言 落合勝一郎

助言 石原 信吾

助言 東 義晴

(4) 事務長に必要な経営データのつくり方

— よみ方、活用の仕方 —

武蔵野赤十字病院事務部長 東 義晴

(5) 病院経営の転換と今後の選択

厚生省病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾

(6) シンポジウム

「苦情処理の仕組みと方策(組合問題を含めて)」

司 会 落合勝一郎

助 言 小野田敏郎

助 言 石原 信吾

助 言 東 義晴

2.23~4(木~金)  
京 都 私 学 会 館  
(63名)

(1) 近代病院の脱皮の進め方

— 私的・中小病院を中心として —

厚生省病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾

(2) 事務幹部職員の資質と士気をどう高めるか

(財)聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

(3) 私の病院の管理上のユニークさと特徴

— その工夫や考え方 — (全員参加)

司会 佼成病院院長 小野田敏郎

(4) 病院の部門別原価計算の作り方と活用法

武蔵野赤十字病院事務部長 東 義晴

(5) 院長の行う院内調整

— 医師を中心として —

佼成病院院長 小野田敏郎

(6) インспекション(院内巡視)の実際とその効果

司会 厚生省病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾

演者 佼成病院院長 小野田敏郎

” (財)聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

” 武蔵野赤十字病院事務部長 東 義晴

(7) 看護業務の総合的運営の実例

— 三交代制への反省を含めて —

厚生省病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾

### 3. 医事研究会

7.21~22(木~金)  
福島県農業共済会館  
(115名)

- (1) 医事職員に必要な基礎医学知識
- ① 胃癌切除術について 駿河台日大病院 第三外科講師 加藤 克彦
- ② 職員研修 織本病院医事課長 岩瀬 英二
- ③ レセプト点検 済生会中央病院医事課長 加藤 雄二
- (2) 自費料金に関する諸問題  
自費料金の現状と問題点

東京厚生年金病院医事係長 松尾 茂

- (3) 講演「病院管理と事務」聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎
- (4) 事例研究
- (5) グループ討議と発表
- (6) 全体討議

10.20~21(木~金)  
鹿児島県文化センター  
(56名)

- (1) 講演「基礎医学(臨床病理検査について)」  
新千里病院長 吉岡 観八

- (2) 講演「最近の医事紛争等について」  
福岡城南病院長 菱山 博文

- (3) 講演「急速に変貌する米国医療から学ぶ」  
聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

- (4) 患者の期待するサービス
- ① あたたかい応対と信頼される病院  
社保蒲田総合病院事務長 安藤 秀雄

- ② 親切的院内のサイン 聖路加国際病院 医事課外来主任 斉藤 寿明

- (5) 医事からみた治療材料の現状と問題点をさぐる  
三井記念病院医事係長 三上 晃

- (6) 事例算定
- (7) 医事業務に必要な医学慣用語  
京都産業大学教養部教授 榎田 博

9.21~22(水~木)  
群馬県水上温泉ホテル聚楽  
(100名)

- 事例算定(内・外・産科 外)

### 4. 庶務人事研究会

11.10~11(木~金)  
日本赤十字社福岡県支部  
(25名)

- (1) 休暇の制度と運用  
年次有給休暇・アンケート報告・労基法上の問題点



聖路加国際病院給与労務主任 石山 稔

東京衛生病院人事担当 西浦 捷裕

(2) 産休・生理休暇等の実情と問題点

東京警察病院総務課係長 松田 詔

河北病院人事課係長 鈴木 摂子

(3) パートタイマー(医師を除く)勤務条件・採用条件

勤務時間、期間、待遇、賃金、交通費、食事、貸与品、年休、  
社保、労災、退職金、厚生

武蔵野赤十字病院庶務課長 入山和太次

(4) 特別講演「テーマに関連した労基法上の問題点」

福岡労働基準局監督課長 猪鹿倉憲夫

(5) 休暇制度の運用と病院業務 虎の門病院庶務課長 冲山 俊雄

## 5. 用度研究会

9.21～22(水～木)

新潟市・

新潟県土地改良会館  
(112名)

(1) 用度業務に関するアンケート調査報告(東北6県、上越4県)

北品川総合病院公衆衛生部事務長 安永勘一郎

(2) 用度業務の現状と問題点

新潟県厚生連中央総合病院管財課長 山田 章孝

新潟県立新発田病院会計課長 伊藤 啓三

(3) リースの実態について

基準寝具・被服のリース

織本病院施設用度部長 杉本 晃一

医療器械・備品のリース

虎の門病院用度課長 本田 力

(4) 講演「MERGE、SHARED SERVICE」の実態について

聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

(5) 東京地区における重油、酸素(気酸、液酸)、笑気等の価格分  
析と現状

虎の門病院用度課長 本田 力

(6) 医療材料の価格決定方法とその問題点

聖路加国際病院用度課長 塩山 雅英

(7) 主要医薬品薬効別 価格実態調査

日比谷病院庶務課係長 梅津 勝男

(8) 全体討議・まとめ

## 6. 施設研究会

10.26～27(水～木)  
大阪チサンホテル  
(61名)

- (1) 消防法及び汚水処理など法改正にともなう財政処置  
岸和田市民病院事務局長 清瀬 喜隆
- (2) 病院施設及び医療機器の減価償却について  
有沢総合病院長 有沢 源蔵
- (3) 会員病院の施設管理状況実態調査の発表
- (4) 施設管理の自営及び外注について  
自治医科大学施設課長 倉持 一雄
- (5) 特別講演「病院機能と設備」 順天堂医院副院長 川北 祐幸
- (6) 給食施設管理について さわ神経科病院長 澤 潤一
- (7) 医療の近代化と病院の増改築の問題点  
聖路加国際病院事務局長 上林 三郎
- (8) 特別講演「病院建築設備における問題点」  
工 学 博 士 山根正二郎

## 7. 会計経理研究会

10.13～14(木～金)  
名古屋市・  
御園座エメラルドホール  
(49名)

- (1) 最近の経済情勢と今後の展望  
東海銀行本店調査部長 神谷 満雄
- (2) 経営管理の問題点 医療法人愛生会理事長 石黒 道彦
- (3) 貸借対照表の作り方 豊州厚生病院経理課長 佐藤 武雄
- (4) 私の病院経営を省りみて 岡山病院院長 岡山 義雄
- (5) 予算編成時における収入予測のたて方  
聖路加国際病院統計課主任 中村 彰吾
- (6) 経営分析集計結果の発表 河北病院事務局長 酒泉 春雄
- (7) 病院見学(岡山病院)

## 8. 労務研究会

7.7～8(木～金)  
三重県・  
鳥羽保養所いそぶえ荘  
(42名)

- (1) 看護部門における労務管理上の問題点  
山田赤十字病院医事課長 中西 勝子  
済生会松坂病院看護部長 大野 玉恵  
倭成病院人事課長 岡野 博  
済生会向島病院事務次長 稲垣 武

- (2) グループ研究 { 職場リーダーと経営意識  
出勤・退社の時刻をどう起算するか  
「勤務体制」の異なる職場の合併  
新勤務体制の導入にあたって
- (3) グループ演習 職場ぐるみのやる気をどうおこさせるか

## 9. 看護管理部会

6.23～24 (木～金)

札幌市・  
北海道看護研修会館  
(136名)

- (1) 特別講演「実務指導について」  
北海道教育大学教授 三沢 正博
- (2) シンポジウム「卒後1～2年の実務指導をいかにするか」  
北海道大学病院教育婦長 大田すみ子  
国立西札幌病院婦長 高橋 瑛子  
札幌医科大学付属病院 千葉美智子  
北海道大学付属病院医師 小林 紀夫
- (3) 講演「看護と記録」 聖路加国際病院総婦長 内田 卿子
- (4) 国際学会ハイライト  
① (社)日本病院会主催第20回国際病院学会  
② (社)日本看護協会主催第16回 ICN大会

10.20～21 (木～金)

福岡市・三鷹ホール  
(145名)

- (1) 特別講演「自己充実の世界」  
西日本相互銀行秘書室長 井原 伸充
- (2) 講演「職場の話し方」 言論科学振興協会理事長 江木 武彦
- (3) 講演「ナースのモラルをいかにしてあげるか」  
北品川総合病院長 河野 稔
- (4) シンポジウム 「卒後1～2年の実務指導をいかにするか」  
聖マリア病院病棟教育主任婦長 石原 トシ  
福岡赤十字病院婦長 稲富美奈子  
九州大学医学部病院 岩田 和子  
久留米大学看護専門学校教務主任 入部 久子  
九州大学医療短期大学部教授 高木良三郎
- (5) 国際病院学会について 看護管理部会委員
- (6) 米国看護教育視察をして 看護管理部会委員

## 10. 薬事管理研究会

6.9~10(木~金)  
私学会館  
(132名)

- (1) 病院薬剤部活動の実態 関東通信病院調剤室長 前田 謙昭  
日赤医療センター調剤課長 福田享二郎
- (2) 薬物療法について 東京理科大学薬学部教授 高木敬二郎
- (3) 病院経営と薬剤費 武蔵野赤十字病院事務部長 東 義晴
- (4) 病院薬剤部活動の実態 新宿赤十字産院薬剤部長 水野 謹爾  
東京警察病院薬剤部主任補佐 五十嵐順郎  
国立病院医療センター試験室主任 古泉 秀夫  
東邦大学病院薬剤部次長 近藤 芳子
- (5) 薬剤部に対する提言 東京通信病院副院長 北原 哲夫  
東京厚生年金病院副院長 伊藤 保彦  
慶応大学病院業務婦長 斉藤すみ江  
虎の門共済病院分院総婦長 七海カツ子

## 11. 栄養管理部会

9.27~28(火~水)  
甲府市・山梨県医師会館  
(144名)

- (1) 病態栄養学(腎臓病と痛風の病態と食事療法)  
山梨県立中央病院内科医長 加賀美年秀  
東京大学医学部講師
- (2) 嗜好調査をどのように反映させるか  
順天堂医院栄養課長 佐藤 節夫
- (3) 治療食における特殊食品について  
京都市立病院栄養科主任 中野 迢
- (4) アメリカにおける最近の病院給食の紹介  
駿河台日大病院栄養科長 神田 紀子
- (5) 栄養指導料について 東京衛生病院調理室主任 山本麻喜子  
(社)日本病院会常任理事、野村病院院長 野村 秋守
- (6) 病院給食の現状と将来  
院長の立場から 清水八東病院副院長 清水八洲男  
事務長の立場から 峽南病院事務長 望月 美男  
看護の立場から 山梨県立中央病院看護婦長 原田智香子  
栄養士の立場から 山角病院栄養士 中込 文江

## 12. 調理研究会

1.26~27(木~金)  
名古屋第一赤十字病院  
(古川講堂)  
(100名)

- (1) 「当院における栄養科の組織と運営」  
名古屋第一赤十字病院栄養科長 安永 幸生

- (2) 「病院調理師に望む」  
 (社)日本病院会常任理事 岡山 義雄  
 岡山病院 病院長
- (3) 「新しい厨房器具の紹介と実演」  
 日本電子機器㈱ 坪井 安
- (4) シンポジウム 「病院給食について」  
 (社)日本病院会常任理事 岡山 義雄  
 岡山病院 病院長  
 名古屋市立東市民病院院長 戸谷 徹造  
 名鉄病院外科病棟看護婦長 市川てる子  
 名古屋市立大学病院給食係長 亀谷 和  
 総合大雄会伊藤放射線病院調理師主任 榎 勝義
- (5) 「将来に向けて病院調理師の姿」  
 (社)日本病院会副会長 河野 稔  
 北品川総合病院長
- (6) 「当院における栄養科の実態」  
 北里大学病院栄養科長 城井 美子
- (7) アンケート集計の発表  
 駿河台日大病院栄養科長補佐 京須 寿雄
- (8) グループ討議  
 1. アンケートを土台として病院調理師の資質向上について  
 2. (社)日本病院会に望む
- (9) グループ討議の各班発表
- (10) 名古屋第一赤十字病院の厨房見学

### 13. 診療録管理研究会

9.14(水)  
 金沢市・金沢商工会議所  
 (84名)

- (1) 病歴室の業務の範囲について  
 京都市立病院病歴係長 酒井 隆子
- (2) ファイリングおよびナンバーリングについて  
 聖路加国際病院診療録管理室長 栗田 静枝
- (3) 分類について  
 杏林大学医学部教授 高橋 政祺
- (4) 産科領域における問題点について  
 大阪通信病院産婦人科部長 竹村 喬
- (5) その他の諸問題について  
 大阪通信病院副院長 田中 敏行



## 16. 臨床検査管理部会

9.16～17(金～土)  
秋田市・秋田県教育会館  
(64名)

- (1) 病院長より検査科にのぞむ 秋田赤十字病院院長 竹本 吉夫
- (2) パネルディスカッション・緊急検査の実態  
座長 社会保険船橋中央病院技師長 後藤 直昭  
演者 市立秋田総合病院主任技師 阿部 定雄  
新潟県立中央病院技師長 村松 貞夫  
むつ総合病院技師長 渡部 光雄  
盛岡赤十字病院技師長 宇生方貞夫
- (3) パネルディスカッション・検査の自動化とその反省  
座長 東京白十字病院検査科長 真鍋 真之  
演者 東海大学病院技師長 河喜多竜祥  
越谷市立病院技師長 近藤 弘司  
佼成病院主任技師 設楽 正登  
藤沢市民病院技師長 宮原 正道  
秋田赤十字病院技師長 根本 一蔵
- (4) パネルディスカッション・中小病院における検査室の管理について  
座長 順天堂大学医学部附属順天堂医院技師長 藤沢 武吉  
① 労務管理 昭和大学病院技師長 平沢 政人  
② 物品管理 東京慈恵会大学病院係長 福井 清一  
③ 薬品管理 駿河台日大病院技師長 佐藤 和身  
④ 成績管理 秋田組合総合病院技師長 加賀屋富四郎

## 17. ハウスキーピング部会

6.24～25(金～土)  
京都第一赤十字病院  
(40名)

- (1) リネンサプライ管理の問題点  
順天堂医院リネン係長 水野 淑子
- (2) リネンサプライの外注管理のチェックポイント  
日通健保東京病院 中溝 正男
- (3) 院内消毒作業の実際 虎の門病院整備課長 粕谷 良
- (4) ハウスキーピング業務と他部門との接点における問題点  
聖路加国際病院ハウスキーピング課長 近藤 英二

(5) 院内の清掃整備業務を自営・外注で行うに当たっての問題点

淀川キリスト教病院家政係長 山崎 静子

慶応大学病院ハウスキーパー 小田桐信子

(6) 意見および情報の交換

聖路加国際病院ハウスキーピング課長 近藤 英二



# 第 6 セ ミ ナ ー

## 1. 病院長セミナー

7.22～23 (金～土)  
六甲オリエンタルホテル

- (1) 病院給食のシステム管理について  
京都産業大学教授 榊田 博
- (2) 地域社会と病院  
関西学院大学社会心理学教授 田中 国夫
- (3) 国立循環器病センター開院にあたって  
国立循環器病センター総長 吉田 常雄
- (4) Life Science の場から見た科学者のあり方  
生命科学振興会会長 松岡 英宗
- (5) 日本の悩み  
参議院議員 中山 太郎
- (6) 最近の医療事情  
衆議院議員 橋本竜太郎
- (7) 日本の医療雑感  
筑波大学教授 村松 剛
- (8) 転換期に立つ日本の経営の諸問題  
日本経済新聞社論説副主幹 鈴木 謙一

## 2. 管理者セミナー

1.20～21 (金～土)  
東京都・京王プラザホテル  
(47名)

- (1) 国民の期待する保健ケア  
朝日新聞社事業開発室 青柳 精一
- (2) 医療におけるシステム工学的思考  
東京大学医学部教授 古川 俊一
- (3) 病院のための実践労務管理  
労働事業団顧問 池辺 道隆
- (4) 医療事故と病院の賠償責任  
学習院大学法学部教授 三藤 邦彦
- (5) 医療費の高騰に国家財政はどう対処するか  
衆議院議員・前厚生大臣 早川 崇
- (6) 医の原点に立って  
遠山病院長 遠山 豪
- (7) 疫学とプライマリー・ケア  
慶応義塾大学医学部教授 倉田 正一
- (8) (ワークショップ)  
「管理者の役割」  
院長・副院長・事務長・総婦長

座長 聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

新千里病院院長 吉岡 観八

### 3. 事務長セミナー

8.18～19(木～金)  
東京都・食糧会館  
(105名)

(1) 医療の現状と展望

～ 医療に対する最近の世論を含めて ～

NHK科学産業番組班チーフディレクター 行天 良雄

(2) 病院看護の現状と展望

聖路加国際病院総婦長 内田 椰子

(3) 病院救急の方向

① 厚生省で考えている病院救急の方向

厚生省医務局指導助成課課長補佐 松浦 哲夫

② 日本病院会でまとめた病院救急の方向

(社)日本病院会会長 左奈田幸夫  
国立埼玉病院長

(4) 第20回国際病院学会を通して世界の病院の動向をさぐる

(社)日本病院会常任理事 吉岡 観八  
新千里病院長

(5) CTを中心とする新しい医療機器の動向

東芝メディカル株式会社社会長 岩井 喜典

(6) 医療の変化と建築 明治大学工学部教授 浦 良一

(7) 病院における労働争議

労働省労政局労働法規課課長補佐 気賀沢克己

(8) シンポジウム

「最近の病院経営」

① 高機能病院経営危機懇談会の填末

聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎

② 赤字なしにきた病院の経営苦心

武蔵野赤十字病院事務部長 東 義晴

③ 病院経営の赤字地帯、黒字地帯

厚生省病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾

### 4. 総婦長セミナー

8.25～26(木～金)  
東京都・  
電設健保会館・私学会館  
(86名)

(1) 看護界の動向 (社)日本看護協会専務理事 福沢 政子

(2) 医学教育の今日的課題 筑波大学教授 堀 原一

- (3) 看護教育について 聖路加看護大学教授 高橋 シュン
- (4) (社)日本病院会の活動について 看護管理部会委員
- (5) 技術指導における思考プロセス  
大東文化大学教育学科助教授 庄司 和晃
- (6) レクリエーション指導 評論家 竹越美代子
- (7) 国際学会ハイライト 看護管理部会委員

## 5. 栄養セミナー

10.16~17(日~月)  
スズケン伊東温泉  
保養所・赤沢荘  
(43名)

- (1) これからの監督者 人事管理協会講師 酒井 暢  
(リーダー) 佼成病院企画調査室長 三浦 秀夫  
昭和大学医学部付属病院技師長 平沢 政人  
日大板橋病院庶務課長 田中 栄一
- (2) 組織と監督者  
仕事の管理、仕事の改善、部下の研修

## 6. 放射線セミナー

9.16~17(金~土)  
静岡県・東山荘  
(39名)

- (1) 講演「病院経済と世界医療の動向」  
厚生省病院管理研究所部長 石原 信吾
- (2) 三分間スピーチ 都立墨東病院技師長 妹尾 昭一  
聖マリアンナ東横病院レントゲン室長 川添 修身
- (3) 全体討議・余暇利用の研究  
日本大学医学部教授 榊原 聡彦  
関東通信病院主任技師 栗田 道雄  
河井病院技師長 藤田 良三
- (4) 講演「接遇のあり方」  
Y.M.C.A.同盟 中野 衛
- (5)〔特別講演〕  
「道」  
佼成病院院長 小野田敏郎
- (6) 全体討議・放射線機器選定における技師の立場  
佼成病院放射線科部長 西田 義夫  
同愛記念病院主任技師 虎渡 勇二  
浦和市立病院放射線科長 野村 任

- (7) 事例研究説明および発表
- (8) 講演「C.T装置について」

聖路加国際病院放射線科医長 野辺地篤郎

## 7. コンピュータゼミ

6.22~23(水~木)  
東京都・東京慈恵会医科  
大学・関東通信病院  
(80名)

- (1) 講演「病院でコンピュータを使うためには」  
(社)日本病院会常任理事・コンピュータ委員  
長・北品川総合病院長 河野 稔

〔主題1〕東京慈恵会医科大学病院情報処理システムの説明および見学

- (2) 慈恵大学病院におけるコンピュータ利用  
東京慈恵会医科大学電算課長・システム担当者 池田 博

- (3) 導入経過

- (4) システムの説明

給与・薬品在庫・医療事務・医療研究面

- (5) 患者登録、医療費計算など端末機運用の見学

- (6) 質疑応答

〔主題2〕関東通信病院情報処理システム説明および見学

(総合的病院情報処理システムを目指す開発を中心に)

- (7) 関東通信病院情報処理システム開発の経過  
関東通信病院医療近代化準備室長 福田 昭

- (8) 現在稼働中のシステム構成について  
関東通信病院医療近代化準備室設計担当調査員 高田 芳男

- (9) 8班に分れて院内システム見学

- (10) 新関連システム開発計画  
関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩之

- (11) 模擬実験システムの概要と目的について  
関東通信病院医療近代化準備室システム担当調査員 川上 信義

- (12) 2班に分れて、画像処理システム、模擬実験システム見学

- (13) 質疑応答

- (14) 特別解説 EDPS推進委員長・血液学検査部長 新谷 和夫

7.13~14(水~木)  
静岡市・静米会館  
(67名)

- (1) 講演「コンピュータを病院で使うためには」  
(社)日本病院会副会長  
北品川総合病院長 河野 稔

- (2) 講演「導入のための予備調査のやり方」  
 (社)日本病院会コンピュータ委員・神奈川県  
 総合リハビリテーションセンター情報管理科長 青木 禧和
- (3) 代表的メーカー各社の端末機の展示見学
- (4) 講演「導入のためのプロジェクトチームの考え方」 青木 禧和
- (5) 事例発表  
 「外来窓口と入院会計処理」 杉石病院事務長 近藤 良雄  
 「医薬分業と病院情報処理」  
 大雄会第一病院事務長 高垣 真之  
 「病院コンピュータシステムの効率的運営」  
 名鉄病院医事課長 小川 保彦  
 「医事業務のコンピュータ処理」  
 静岡県立こども病院医事第一係長 梅屋 義実  
 「病院管理におけるコンピュータ利用」  
 犬山病院常務理事 吉田 稔  
 「医事業務におけるコンピュータ利用」  
 藤枝市立志太総合病院医事第一係長 有馬 敏男  
 「各種サブシステム(在庫・給食・経理)の効率的運用」  
 同友会病院事務長 鬼山 照男
- (6) 講演「病院医療情報処理の現状(日本病院会の実態調査から)」  
 (社)日本病院会コンピュータ副委員長・三宅 浩之  
 関東通信病院電子応用医学研究室長
- (7) 説明と質疑 座長 (社)日本病院会コンピュータ委員
- (8) 病院情報処理の考え方(システム導入の苦労話)  
 代表的メーカー各社システム担当者による説明

9.21~22(水~木)  
 岐阜市・名古屋市・豊明  
 市・岐阜県婦人会館ほか  
 (41名)

- (1) 講演「コンピュータを病院で使うためには」  
 (社)日本病院会副会長 河野 稔  
 北品川総合病院長
- (2) 講演①「欧米における医療情報処理の現状」  
 —— 第2回世界医療情報処理会議と米国病院情報システム調査団帰国報告 ——
- (3) 講演②「病院医療情報処理の現状」  
 —— 日本病院会の実態調査から ——  
 (社)日本病院会コンピュータ委員長・三宅 浩之  
 関東通信病院電子応用医学研究室長
- (4) 映画 MEDIS 製作「医療情報システム」上映

(5) 発表「病院業務コンピュータ処理の現状」

—— 導入経過・適用業務・業務システム・帳票システム・  
現状の問題点と将来の展望 ——

岐阜県厚生連揖斐病院医事課主任 木村 保夫

三菱名古屋病院医事課係長 吉田 信尾

安井病院医事課長 藤井 晃子

大阪回生病院企画部長 日西 義之

(6) 長良川鶴飼観賞

(7) 中部労災病院(労働福祉事業団・560床)のシステムの説明と  
見学・質疑

(8) 名古屋保健衛生大学病院(学校法人・510床)のシステムの説  
明と見学・質疑

10.9~10(金~土)  
甲府市・紫 苑  
(61名)

(1) 開会講演「病院情報システムの現状と動向」

(社)日本病院会コンピュータ委員長 三宅 浩之  
関東通信病院電子応用医学研究室長

(2) 基調講演「病院管理の諸問題」

(社)日本病院会教育委員長 三宅 史郎  
国立甲府病院 長

(3) 映画「医療情報システム」

((財)医療情報システム開発センター製作)

(4) 講演「コンピュータ導入の技術的方法論」

—— 病医院へのコンピュータ導入早分りを中心に ——

(社)日本病院会コンピュータ委員 岡田 行雄  
電々公社データ通信本部総括部調査役

(5) 招待講演「地域共同利用型病院情報システムの開発」

(財)医療情報システム 苫米地孝之助  
開発センター常務理事

(6) 質 疑

(7) 参加者懇談会

(8) 総合討論「病院情報処理の実務について」

森下胃腸病院のシステム運用

(社)日本病院会コンピュータ委員 五百蔵速雄  
森下胃腸病院常務理事・事務長

慈恵会医科大学病院の事務共同処理システムの運用

(社)日本病院会コンピュータ委員 池田 博  
東京慈恵会医科大学電算課長

豊洲厚生病院における情報処理

(社)日本病院会コンピュータ委員 水野 精巳  
豊洲厚生病院理事

(9) 総合討論「病院情報システムについてシステム提供側から

の提案」

座長 (社)日本病院会コンピュータ委員長 三宅 浩之

ミニコンピュータを中心とする計画

東芝メディカル(株)病院事務管理システム担当課長 外丸 昌司

医用端末(マイクロコンピュータ付)を中心とする計画

パロース(株)営業推進部課長 後藤 恭

汎用コンピュータを中心とする計画

(株)日立製作所公共システム部長 西山 孝之

ビッグミニコンのネットワークを中心とする計画

住友電気工事(株)開発企画部次長 谷口 邦彦

(10) 総合討論 (発表者全員と参加者)

- (1) 病院情報処理システムの現状と動向 (システム・モジュールの概念)

(社)日本病院会コンピュータ委員長 三宅 浩之  
関東通信病院電子応用医学研究室長

- (2) 病院情報処理システム導入の問題点と対策 (職員教育の問題と用語解説)

(社)日本病院会コンピュータ委員・神奈川県総合リハビリテーションセンター研究部情報管理科長 青木 禧和

- (3) 医療事務システムの具体的計画 (医療事務の実例とシステム設計の手法)

(社)日本病院会コンピュータ委員 日西 義之  
大阪回生病院企画部長

- (4) 小グループ討論・指導 (参加者のコンピュータ導入相談)

対応者：(社)日本病院会コンピュータ委員全員

- (5) システム導入の技術、とくに導入初期の混乱を排除するには (自験例を中心に)

(社)日本病院会コンピュータ委員 水野 精巳  
豊洲厚生病院理事長

- (6) システムの拡大を前提とする導入の実例 (システム改善の方法)

大阪府立成人病センター 河村 逸郎

- (7) システム計画のフィロソフィー (目的を定めて計画を進めよう)

住友病院 山田 信義

- (8) 病院見学

(A) 住友病院、大阪回生病院、阪南中央病院、大阪府立羽曳野病院

(B) 関西医科大学付属病院、大阪大学医学部付属病院、大阪府立

3.15~17 (水~金)  
大阪市・大阪通信会館

成人病センター

- (C) 西宮市立中央病院、神戸市立中央市民病院、春日外科病院、  
舞子台病院

## 8. 医療紛争防止のためのセミナー

7.13～14(水～木)  
名古屋第一赤十字病院  
(54名)

- (1) 問診義務と説明義務及び医療紛争将来の問題点  
兵庫医科大学教授 松倉 豊治
- (2) 医事紛争雑感 (社)日本病院会常任理事 菱山 博文  
福岡城南病院長
- (3) 医事紛争対策について  
産婦人科野口病院長 野口 圭一
- (4) 医事紛争処理方法、過失認定の基準  
安田火災社顧問弁護士 後藤 昭樹  
後藤・太田法律事務所 太田 博之
- (5) 医事紛争防止のためのチェックポイント  
高山整形外科病院事務長 菅佐原正平
- (6) 医療事故受付留意点……失敗のないように……  
安田火災社新種保険査定部

1.24～25(火～水)  
神奈川県保健教育センター  
(88名)

- (1) 医療過誤による紛争とその問題点  
神奈川県医師会顧問弁護士 藤井 暹
- (2) 最近の医療紛争とその解決  
日本医師会顧問弁護士 饗庭 忠男
- (3) 医事紛争防止のためのチェックポイント  
高山整形外科病院事務長 菅佐原正平
- (4) 医療紛争の問題点 神奈川県医師会理事 堀越 登
- (5) 苦情処理の実際 聖路加国際病院庶務課長 内藤 均
- (6) 査定から見た医事紛争 安田火災(株)



## 第7 各種委員会

### 1. 教育委員会

9. 14 (水) 番 町 共 済 会 館	(1) 本年度方針について (2) 6, 7月全国勉強会の反省	28名
9. 30 (金) パシフィックホテル	(1) 前回勉強会報告事項について ○資格認定(ハウス, 調理等)の件 ○講師の謝礼について ○参加費について(独立採算を考慮) ○縦割, 横割について ○来年度開催地について ○組織拡大とを考えて ○その他	7名
10. 14 (金) 食 糧 会 館	(1) 8, 9月全国勉強会の反省 (2) 昭和53年度全国勉強会の開催地希望について (3) 他部門との関連勉強会について	19名
2. 4 (土) 番 町 共 済 会 館	(1) 昭和53年度全国勉強会について (2) 参加会費、講師謝礼について (3) 派遣委員について	14名
2. 18 (土) 番 町 共 済 会 館	(1) 全国勉強会の一部変更について (2) 全国勉強会担当役員について	4名

### 2. 病院制度委員会

4. 4 (月) 番 町 共 済 会 館	(1) 病院会としての提供体制のまとめ	15名
6. 6 (月) 番 町 共 済 会 館	(1) 供給体制を中心とする地域救急医療の改善方針 まとめ	11名
7. 4 (月) 番 町 共 済 会 館	(1) 医師の卒後教育について	9名
9. 5 (月) 番 町 共 済 会 館	〃	12名
10. 3 (月) 番 町 共 済 会 館	〃	14名
11. 7 (月) 番 町 共 済 会 館	〃	7名
12. 5 (月) 番 町 共 済 会 館	〃	9名
2. 6 (月) 番 町 共 済 会 館	〃	9名
3. 6 (月) 番 町 共 済 会 館	〃	7名

### 3. 学術委員会

#### (編集委員会)

- |                       |   |     |
|-----------------------|---|-----|
| 4. 1 (金) 番 町 共 済 会 館  | (1) 学術雑誌「病院学」表紙デザインについて<br>(2) 学術雑誌「病院学」創刊号について<br>(3) 学術雑誌「病院学」No.2 について | 4 名 |
| 5. 9 (月) 番 町 共 済 会 館  | (1) 学術雑誌「病院学」No.2 編集企画について<br>(2) その他                                     | 5 名 |
| 6. 13 (月) 番 町 共 済 会 館 | (1) 学術雑誌No.1 発刊報告<br>(2) " No.2 編集について<br>(3) その他                         | 5 名 |
| 7. 11 (月) 番 町 共 済 会 館 | (1) 学術雑誌No.2 編集について<br>(2) 委員長の選定について<br>(3) その他                          | 5 名 |

#### (全体委員会)

- |                   |  |     |
|-------------------|--|-----|
| 8. 22 (月) 食 糧 会 館 | (1) 学術委員会の活動について<br>(2) 学術雑誌「病院学」について<br>(3) その他 | 8 名 |
|-------------------|--|-----|

#### (編集委員会)

- |                        |   |     |
|------------------------|---|-----|
| 9. 12 (月) 番 町 共 済 会 館  | (1) 学術雑誌No.2 編集について<br>(2) " No.3 企画について<br>(3) その他   | 8 名 |
| 11. 14 (月) 番 町 共 済 会 館 | (1) 学術雑誌No.2 制作状況について<br>(2) " No.3 企画について<br>(3) その他 | 5 名 |
| 1. 18 (水) 番 町 共 済 会 館  | (1) 学術雑誌No.2 進行について<br>(2) " No.3 編集について<br>(3) その他   | 3 名 |
| 2. 28 (火) 番 町 共 済 会 館  | (1) 学術雑誌No.3 編集について<br>(2) " No.4 企画について<br>(3) その他   | 6 名 |

### 4. 臨床予防医学委員会

- |                         |                         |      |
|-------------------------|-------------------------|------|
| 8. 25 (木) 綱 町 三 井 倶 楽 部 | (1) 第19回人間ドック学会長推せんについて | 15 名 |
|-------------------------|-------------------------|------|

- |                       |   |     |
|-----------------------|---|-----|
|                       | (2) 第20回人間ドック学会長推せんについて                 |     |
|                       | (3) 短期人間ドック実施病院の指定内規および<br>申告書改正について    |     |
|                       | ✓ (4) 山口赤十字病院より提出の短期人間ドック<br>検査項目追加について |     |
| 9. 12 (月) 番 町 共 済 会 館 | (1) 胆のう造影剤ヒロプチン使用可否について                 | 5 名 |
|                       | ✓ (2) 山口赤十字病院より提出の短期人間ドック<br>検査項目追加について |     |
|                       | (3) 短期人間ドック実施病院の指定内規および<br>申告書改正について    |     |
| 9. 21 (水) 番 町 共 済 会 館 | (1) 短期人間ドック実施病院の指定内規および<br>申告書改正について    | 5 名 |
| 12. 1 (木) 番 町 共 済 会 館 | (1) 53年度短期人間ドック利用料について                  | 7 名 |
|                       | (2) 53年度短期人間ドック利用料決定に伴う宣<br>伝文の項目作成について |     |
|                       | (3) 短期人間ドック実施病院の指定内規および<br>申告書改正について    |     |
| 1. 12 (木) 番 町 共 済 会 館 | (1) 短期人間ドック実施病院の指定内規および<br>申告書改正について    | 7 名 |

(自動化健診認定委員会 52. 9. 21 53. 2. 8 53. 3. 22 開催)

## 5. 通信教育委員会

- |                               |                         |     |
|-------------------------------|-------------------------|-----|
| 4. 9 (土) 京 都 新 都 ホ テ ル        | 診療録通信教育委員会              |     |
|                               | (1) 試験成績合否判定について        | 5 名 |
|                               | (2) 認定証授与式について          |     |
|                               | (3) 夏期集中スクーリング日程        |     |
|                               | (4) 卒業試験合格基準点引上げ        |     |
|                               | (5) 第1回日本診療録管理学会開催に至る経過 |     |
| 6. 25 (土) 鉄 道 会 館 ル ビ ー ホ ー ル | メディカルマーク通信教育委員会         | 9 名 |
|                               | (1) 夏季集中スクーリング日程について    |     |
|                               | (2) 講師の委嘱について           |     |
|                               | (3) その他                 |     |

9. 13 (火)	金沢スカイホテル	診療録通信教育委員会	7名
		(1) 試験成績合否判定について	
		(2) 認定証授与式について	
		(3) 冬期集中スクーリング日程	
		(4) 第11回全国診療録管理研究会開催について	
		(5) その他	
11. 20 (日)	名鉄グランドホテル	メディカルクラーク通信教育委員会	8名
		(1) 試験成績合否判定について	
		(2) 終了・認定式について	
		(3) 冬期集中スクーリング日程について	
		(4) その他	
11. 14 (月)	番町共済会館	事務管理者通信教育委員会	6名
		(1) 事務管理者通信教育部管理運用規定について	
		(2) 経費計画について 特に受講料について	
12. 14 (水)	番町共済会館	事務管理者通信教育委員会	7名
		(1) 教育科目, 講師及びテキスト案について	
1. 18 (水)	番町共済会館	事務管理者通信教育委員会	7名
		(1) 教材(テキスト)の確定	
		(2) 担任講師の選定	
2. 1 (水)	番町共済会館	事務管理者通信教育委員会	7名
		(1) 担任講師について再検討	
		(2) 予算(案)について	
3. 1 (水)	番町共済会館	事務管理者通信教育委員会	8名
		(1) 修正経費(案)について	
		(2) 研修科目の確定(24科目)	
		(3) 名称「事務長養成課程通信教育」とする	
3. 14 (火)	京都新都ホテル	診療録通信教育委員会	5名
		(1) 試験成績合否判定について	
		(2) 夏期集中スクーリング日程について	
		(3) リポート提出期限について	
		(4) その他	

3. 29 (水) 番 町 共 済 会 館	事務長養成課程通信教育委員会	6 名
	(1) 修正経費(案)について再検討	
	(2) 募集広告について	
	(3) 講師会の開催について	

## 6. コンピュータ委員会

4. 12 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 病医院へのコンピュータ導入ハンドブック の進行状況について	14 名
	(2) 第20回コンピュータゼミについて	
	(3) 新委員のすいせんについて	
	(4) その他	

6. 22 (水) 東京農林年金会館	(1) 病医院へのコンピュータ導入ハンドブック の進行状況と製作上の諸条件について	20 名
	(2) 国保レセプトのフォーマットに関する諸問 題について	
	(3) 第20回コンピュータゼミ（静岡市）について	
	(4) コンピュータゼミの日程変更について	
	(5) その他	

7. 27 (水) 私 学 会 館	(1) 病医院へのコンピュータ導入ハンドブックの 進行状況とPRについて	18 名
	(2) 国保レセプトのフォーマットに関する諸問題 について	
	(3) 第21回コンピュータゼミ（岐阜市）について	
	(4) 新委員の委嘱について	

9. 13 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 委員自己紹介	
	(2) 病医院へのコンピュータ導入ハンドブック 進行状況について	
	(3) 国際疾病分類のPRについて	
	(4) 第20回コンピュータゼミについて	
	(5) 病院のコンピュータ利用実態調査について	
	(6) メディンフォ77の参加報告	
	(7) その他	

10. 11 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 国保レセプト様式調査に関する件	20 名
------------------------	---------------------	------

- |                     |  |     |
|---------------------|--|-----|
|                     | (2) 病医院へのコンピュータ導入ハンドブックの進行状況について       |     |
|                     | (3) 病院におけるコンピュータ利用実態調査に関する件            |     |
|                     | (4) 第21回コンピュータゼミについて                   |     |
|                     | (5) 今後の委員会の運営について                      |     |
|                     | (6) その他                                |     |
| 11. 2(水) 番町共済会館     | (1) 国保レセプト標準化案の作成について                  | 13名 |
|                     | (2) 病院におけるコンピュータ利用実態調査実施について           |     |
|                     | (3) 第22回コンピュータゼミについて                   |     |
|                     | (4) 昭和53年度コンピュータゼミ開催日程について             |     |
|                     | (5) その他                                |     |
| 12. 14(水) 番町共済会館    | (1) 医事研に参加して                           | 14名 |
|                     | (2) 第23回コンピュータゼミ(大阪市)について              |     |
|                     | (3) 来年度の委員会の計画について                     |     |
|                     | (4) 来年度のコンピュータゼミについて                   |     |
|                     | (5) 病院訪問調査について                         |     |
|                     | (6) 次回委員会開催について                        |     |
|                     | (7) アンケート調査について                        |     |
|                     | (8) その他                                |     |
| 1. 17(火) 電々公社展示センター | (1) 午後の勉強に対する討論                        | 19名 |
|                     | (2) 病院におけるコンピュータ利用実態調査について             |     |
|                     | (3) 第23回コンピュータゼミについて                   |     |
|                     | (4) その他                                |     |
| 2. 14(火) 番町共済会館     | (1) コンピュータ利用状況調査について                   | 15名 |
|                     | (2) 5月に晴海で行う公開シンポジウム(第24回コンピュータゼミ)について |     |
|                     | (3) 53年度のコンピュータゼミの開催計画について             |     |
|                     | (4) その他                                |     |

## 7. 編集委員会

4. 26 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 日本病院会雑誌 6月号の編集について (2) “ 7月号の企画について (3) その他	7名
5. 31 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 日本病院会雑誌 7月号の編集について (2) “ 8月号の企画について (3) その他	8名
6. 28 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 日本病院会雑誌 8月号の編集について (2) “ 9月号の企画について (3) 第20回国際病院学会特集企画について (4) その他	8名
7. 26 (火) 食 糧 会 館	(1) 編集委員会の構成について (2) 担当副会長, 協力委員について (3) 第20回国際病院学会特集企画について (4) 日本病院会雑誌 9月号の編集について (5) “ 10月号の企画について (6) その他	15名
8. 17 (水) 食 糧 会 館	第20回国際病院学会特集企画会議 (1) 記録の解き方について (2) 写真の使い方について (3) その他	9名
注) 編集委・国際学会組織委合同会議		
8. 23 (火) 食 糧 会 館	(1) 第20回国際病院学会特集企画について (2) 日本病院会雑誌10月号の編集について (3) “ 11月号の企画について (4) その他	13名
9. 27 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 日本病院会雑誌11月号の編集について (2) “ 12月号の企画について (3) 第3回日本病院会学会座談会出席者および 司会者について (4) その他	7名
10. 25 (火) 番 町 共 済 会 館	(1) 日本病院会雑誌12月号の編集について (2) “ 1月号の企画について	10名

		(3) その他	
11. 22 (火)	済生会川口総合病院	(1) 日本病院会雑誌1月号の編集について (2) " 2月号の企画について (3) 院内見学その他	7名
12. 27 (火)	番町共済会館	(1) 日本病院会雑誌2月号の編集について (2) " 3月号の企画について (3) 53年度からの雑誌発行部数について (4) その他	6名
1. 24 (火)	番町共済会館	(1) 日本病院会雑誌3月号の編集について (2) " 4月号の企画について (3) その他	6名
2. 28 (火)	番町共済会館	(1) 日本病院会雑誌4月号の編集について (2) " 5月号の企画について (3) その他	13名
3. 28 (火)	番町共済会館	(1) 日本病院会雑誌5月号の編集について (2) " 6月号の企画について (3) その他	10名

#### 8. ホスピタルショウ委員会

8. 4 (木)	松本楼	(1) 78国際モダンホスピタルショウの概要について	13名
8. 9 (火)	東海クラブ	(1) 具体的内容について	8名
9. 27 (火)	日本経営協会	(1) テーマについて	10名
11. 1 (火)	日本経営協会	(1) テーマについて	10名
12. 13 (火)	日本経営協会	(1) テーマとポスターについて	11名

#### 9. 組織委員会

10. 1 (土)	番町共済会館	(1) 組織委員会の運営について (2) 組織強化対策について (3) アンケートの実施について (4) その他	7名
12. 3 (土)	番町共済会館	(1) 組織拡大強化対策の具体的実施方法について	8名



(2) その他

2. 4 (土) 番 町 共 済 会 館 (1) 組織拡大強化の具体的プラン作成について 8名

## 10. 医療費問題委員会

8. 24 (水) 私 学 会 館 (1) 委員会の運営方針について 9名

(2) 診療報酬改正問題の現状と分析

(3) 診療報酬問題に臨む態度

(4) その他

9. 29 (木) 番 町 共 済 会 館 第二回病院大会提出の決議案審議 6名

(1) 室料, 給食料, 看護料改訂

(2) 医学管理料改訂

(3) 重傷患者に対する特別看護料の承認

(4) 利子補給

(5) リハビリテーションに対する適性な医療費

(6) その他

10. 19 (火) 番 町 共 済 会 館 第二回病院大会提出決議案再審議提案事項 10名

(1) 地域医療の推進と社会福祉

(2) 医療費の大幅値上

(3) 施設安全管理料

(4) 病院税制の改制に関する件

1. 25 (水) 番 町 共 済 会 館 診療報酬改正による内容検討 7名

(1) 室料差額の件

(2) 付添看護料の件

(3) C・T値上に関する件

上記3点に関し要望書を提出するが, 2月1日  
以降の実績試算書を出して再審議する。

## 11. 看護制度委員会

5. 7 (土) 番 町 共 済 会 館 (1) 看護業務担任状況調査に対する総括的討議 6名

と対外的アプローチについて

(2) 委員任期終了に伴う補充等について

(3) その他

9. 10 (土) 番 町 共 済 会 館 (1) 左奈田会長あいさつ 8名

	(2) 河野副会長あいさつ	
	(3) 委員自己紹介	
	(4) 委員長あいさつ	
	(5) 報告事項	
	① 看護業務担任状況調査について	
	(6) 協議事項	
	① 看護大学の設置について	
	② 看護婦の卒後継続専門教育について	
	③ 看護学校運営費補助金増額の要望について	
	(7) その他	
10. 8(土) 主婦会館	(1) 看護学校運営費補助金増額の要望について	8名
	(2) 看護婦の卒後継続専門教育について	
	(3) 看護大学の設置について	
11. 19(土) 番町共済会館	(1) 看護大学設置ならびに看護婦等養成施設運営費補助増額に関する要望について(報告)	8名
	(2) 看護管理者の実態調査の実施案について	
	(3) その他	
<b>12. 地域医療委員会</b>		
1. 9(月) 番町共済会館	(1) 委員会運営について	6名
	(2) 検討課題について	
	(3) その他	
3. 6(月) 番町共済会館	(1) 地域医療計画の進め方について	3名
	(2) その他	
<b>13. 労務委員会</b>		
10. 13(木) 番町共済会館	「労務管理アンケート」内容検討打合せ	6名
12. 16(木) 番町共済会館	「労務管理アンケート」回収中間報告	6名
<b>14. 年金・税制・厚生委員会</b>		
(税制委員会)		
10. 15(土) 番町共済会館	(1) 病院税制の抜本的改正について	8名

- ① 耐用年数短縮について
- ② 医療法人の税率軽減について
- ③ 特定の医療法人に関する件

(年金・厚生委員会)

1. 26 (木) 番 町 共 済 会 館 (1) 愛知県病院協会年金制度開始について 11 名

15. 病院会館建設委員会

3. 5 (土) 東京トラック事業  
健保会館  
・土地、建物について 5 名  
・その後の報告及び資金調達について

16. 病院会館建設準備会

7. 15 (金) 番 町 共 済 会 館 会館建設について 5 名

8. 5 (金) 食 糧 会 館 資金調達についての具体的検討 5 名

9. 2 (金) 番 町 共 済 会 館 資金調達計画について 6 名

9. 17 (土) 番 町 共 済 会 館  
・資金調達についての具体的検討 7 名  
・その他発起人会等の問題について

10. 1 (土) 東京トラック事業  
健保会館  
・資金調達についての具体案の検討 6 名  
・発起人会設立について

10. 14 (金) 番 町 共 済 会 館  
・土地購入について具体的検討 6 名  
・発起人会発足にともなう今後の諸問題について

17. 医療事故対策委員会

4. 12 (火) 番 町 共 済 会 館 7月のセミナー スケジュール決定の為 5 名

6. 13 (月) 名古屋第一赤十字病院 7月のセミナー 最終打合せ 6 名

9. 6 (火) 番 町 共 済 会 館 1月のセミナー スケジュール決定の為 7 名

11. 22 (火) 神奈川県医師会館 1月のセミナー 最終打合せ 6 名

2. 25 (土) 日本病院共済会 6月のセミナー 打合せ 5 名

18. 医療従事者対策委員会

12. 21 (水) 番 町 共 済 会 館 意見交換会 4 名

19. 定款等諸規定検討委員会

12. 3 (土) 番 町 共 済 会 館 (1) 検討計画について 5 名

- ① 定款をはじめ施行細則・附属規程の外、  
就業規則・給与規定・旅費規定・委任規  
定を原則として検討対称とする。
  - ② 検討委員会の最終結論は本期役員の任期  
中として順次作業をすすめる。
  - ③ 委員会は今後常任理事会開催に併せて、  
月1回開催する。
- (2) 検討事項について  
常任理事会等で問題点として指摘されてい  
る条項について総論的な問題提起を行なった。

[定 款]

- ① 第4条 事業 内容の再検討と会館事項
- 第5条 会員の種類  
賛助会員の規定化
- 第9条 戒告又は除名  
代議員会の権能として挿入
- 第10条 役員の種類  
理事若干名を増員する
- 第12条 役員の任期  
3年任期を再検討する
- 第11条 役員の選任  
直接選挙とするか、現行  
のままか
- 第20条 理事会の種類および開催時期  
定期理事会年4回を増や  
しては

[定款施行細則]

- 第5条 代議員の選出  
公私代議員数の均衡取扱い
- 第8条 理事・監事の選出  
理事数と常任理事数の検討
- 第9条 常任理事会の運営  
委員長の出席取扱い

## 第10条 支部の設置

### 県支部・ブロック支部の検討

- |                |  |    |
|----------------|--|----|
| 2.17(金) 番町共済会館 | (1) 検討項目                                 | 3名 |
|                | ① 定款第4条(事業)に会館に関する項目を加える                 |    |
|                | ② 定款第5条(会員)に個人会員制度を設ける                   |    |
|                | ③ 定款第5条(会員)賛助会員を定款上明確化する                 |    |
|                | ④ 定款施行細則第3条(会費)に50床又は100床未満の会員の軽減措置を明記する |    |
|                | ⑤ 会費の月割計算を明記する                           |    |
| 3.3(金) 番町共済会館  | (1) 検討項目                                 | 6名 |
|                | 前回委員会までの細部事項を詰める                         |    |

## 20. 防災対策委員会

- |                |                         |    |
|----------------|-------------------------|----|
| 2.3(金) 番町共済会館  | (1) 委員会構成について           | 6名 |
|                | (2) 建設省・防災懇談会経過報告       |    |
|                | (3) 厚生大臣・消防長官宛陳情書提出について |    |
|                | (4) その他                 |    |
| 2.25(土) 番町共済会館 | (1) 建設省(案)の検討           | 5名 |
|                | (2) 病院の防災施設の実態について      |    |
|                | (3) その他                 |    |

## 21. 勤務医対策委員会

- |                |                     |     |
|----------------|---------------------|-----|
| 1.19(木) 番町共済会館 | 本委員会活動方針について        | 14名 |
| 2.28(火) 番町共済会館 | 議題案について             | 11名 |
| 3.28(火) 番町共済会館 | (1) タレント・ドクターについて   | 10名 |
|                | (2) 好ましい勤務医のあり方について |     |

## 第8) 内科臨床協議会 (Joint Conference)

参加人員

4. 28 (木)	国立病院医療センター	(1) ネフローゼ症候群腹部膨満を呈し、ショック状態で死亡した骨髄腫の一例 (国立病院医療センター)	21名
		(2) 慢性腎不全感染症例 (佼成病院)	
6. 15 (水)	関東通信病院	(1) 咳発熱を伴って入院経過中に肺梗塞を発症した一若年女性の症例 (厚生中央病院)	34名
		(2) 原因不明の発熱血尿と Monocytosis を伴う一例 (関東通信病院)	
		(3) 消化器症状を主徴とした尿路感染症 (北品川総合病院)	
6. 21 (水)	東京厚生年金病院	(1) 高熱肝腫大を呈しDICで死亡した一剖検例 65才 男 (河北病院)	25名
		(2) 短期間で著明な肝腫大を呈した大酒家の二例 52才 男 (東京厚生年金病院)	
6. 28 (火)	国立立川病院	(1) 微熱、たちくらみを主訴とせる脈無し病と思われる23才女性の症例 (国立療養所村山病院)	17名
		(2) るい瘦と起立困難を訴えた53才女性症例 (共済立川病院)	
		(3) 腸水るい瘦を主訴とせる66才男子症例 (国立立川病院)	
9. 22 (木)	都立豊島病院	(1) 周期性四肢麻痺の臨床 (国立埼玉病院)	20名
		(2) 周期性四肢麻痺の二例 (都立豊島病院)	
10. 18 (火)	永寿総合病院	脳卒中様発作を起し、胸部に異常の陰影を認めた一剖検例	14名
10. 26 (水)	青梅市立総合病院	(1) 診断困難の貧血症例 (青梅市立総合病院)	17名
		(2) 原発性アルドステロン症を疑われる症例 (福生病院)	
1. 23 (月)	聖路加国際病院	(1) 消化性潰瘍のためくり返し外科的手術をうけた興味ある一例 71才 女 (国立がんセンター)	43名

- (2) 副甲状腺機能亢進症を合併し、クッシング症候群を呈した副腎癌の一例 33才 女  
(三楽病院)
- (3) 血管内凝固症候群を伴った激症髄膜炎菌性髄膜炎の一例 46才 女  
(聖路加国際病院)
1. 26(木) 関東中央病院 (1) 興味ある経過をとった肝硬変の一例 29名  
46才 男 (自衛隊中央病院)
- (2) アルカリフォスターゼが著増している若い一女性例 25才 女 (関東中央病院)
- (3) 大腸腫瘍と疑われた一症例 65才 男  
(国立大蔵病院)
3. 9(木) 都立墨東病院 (1) 全身筋肉痛と著明な腹痛に高度の発熱、白血球増多と、心膜炎症状を伴った21才の女性 14名
- (2) 臍下5横指におよぶ巨大肝腫を示した54才の女性

## 第9 診療録管理通信教育

### <東京地区>

4. 23 (土)	聖路加国際病院	医学用語学 その1	27名
5. 7 (土)	聖路加国際病院	医学用語学 その2	13名
5. 30 (土)	駿河台日大病院	病歴室見学他	43名
6. 11 (土)	番町共済会館	外科学 その1	10名
7. 9 (土)	都立駒込病院	コンピュータと病歴室の見学	46名
7. 16 (土)	東医健保会館	コンピュータと病歴室の見学 その2	12名
7. 23 (土)	東医健保会館	診療録管理室運営 その1	15名
9. 10 (土)	東医健保会館	診療録管理室運営 その2	11名
10. 8 (土)	国立病院医療センター	病歴室見学他	33名
10. 15 (土)	東医健保会館	診療録管理室運営 その3	10名
10. 22 (土)	聖路加国際病院	医学用語学 その1	16名
10. 29 (土)	東京トラック健保会館	病歴士に必要な解剖学 その1	18名
11. 12 (土)	食糧会館	病歴士に必要な解剖学 その2	14名
11. 19 (土)	聖路加国際病院	医学用語学 その2	21名
11. 26 (土)	東医健保会館	診療録管理室運営 その4	6名
12. 10 (土)	番町共済会館	病歴士に必要な解剖学 その3	17名
1. 14 (土)	慶応義塾大学病院	病歴室見学他	56名
1. 17 (土)	東医健保会館	品質管理 その1	10名
1. 21 (土)	東医健保会館	品質管理 その2	8名
1. 28 (土)	番町共済会館	病歴士に必要な解剖学 その4	16名
3. 11 (土)	番町共済会館	病歴士に必要な解剖学 その5	20名

### <近畿地区>

4. 16 (土)	住友病院	コンピュータの基礎 その2	29名
5. 14 (土)	住友病院	病歴士に必要な小児科学の知識	34名
6. 18 (土)	住友病院	耳鼻咽喉科病域における解剖と疾患	33名
7. 16 (土)	住友病院	整形外科領域における代表的疾患とその発生原因	36名
9. 17 (土)	住友病院	アイソトープによる検査とその応用 その1	34名
10. 15 (土)	住友病院	臨床検査の常識 その2	31名
11. 12 (土)	ビジネスホテル瀬戸内	医学用語学	16名



11. 19 (土)	住 友 病 院	アイソトープによる検査とその応用 その2	18名
12. 17 (土)	住 友 病 院	病歴士に必要な眼科学の知識	17名
1. 21 (土)	住 友 病 院	血液について	29名
3. 18 (土)	住 友 病 院	糖尿病及び内分泌疾患について	25名

<名古屋地区>

4. 23 (土)	名 大 病 院	内分泌学・医学用語学 その2	16名
5. 14 (土)	名 大 病 院	内科学・病院管理学	16名
6. 18 (土)	名 大 病 院	外科麻酔学	13名
7. 9 (土)	名 大 病 院	消化器系 その1・統計学 その1	8名
8. 13 (土)	名 大 病 院	消化器系 その2・統計学 その2	11名
9. 17 (土)	名 大 病 院	生理学 その1	6名
10. 15 (土)	名 大 病 院	生理学 その2・分類法 その1	10名
11. 12 (土)	名 大 病 院	解剖学 その1	7名
12. 10 (土)	名 大 病 院	解剖学 その2	7名
1. 14 (土)	名 大 病 院	内科学・分類法 その2	10名
2. 4 (土)	名 大 病 院	内科学・分類法 その3	12名
3. 4 (土)	名 大 病 院	内科学・分類法 その4	7名

<仙台地区>

4. 23 (土)	東北大学医学部附属病院	内科学	7名
6. 18 (土)	東北大学医学部附属病院	第1回日本診療録管理学会に参加して	8名
7. 23 (土)	東北大学医学部附属病院	外科学	10名
9. 14 (水)	東北大学医学部附属病院	衛生統計および病院統計の概論 その1	9名
10. 22 (土)	東北大学医学部附属病院	衛生統計および病院統計の概論 その2	9名
11. 26 (土)	東北大学医学部附属病院	衛生統計および病院統計の概論 その3	11名
12. 15 (木)	良 陵 会 館	診療録管理セミナー	13名
1. 21 (土)	東北大学医学部附属病院	臨床腫瘍病理学	10名
3. 18 (土)	東北大学医学部附属病院	循環器疾患について	11名

◎ 集中スクーリング

第10・11期生				第7期生 第9期生	第8・9期生		
基	礎	科	目	試	専 門 科 目		

52. 8月 18 19 20 21 22 23 24  
 (木) (金) (土) (日) (月) (火) (水)

会場 東 京 (佼成高等看護学校) 8/18～8/24 103名  
 大 阪 (日生病院高等看護学校) 8/18～8/24 70名  
 大 阪 (大阪通信病院) 8/21 試 験  
 福 岡 (福岡大学医学部) 8/18～8/24 49名

第11・12期生				第8期生 第10期生	第9・10期生		
基	礎	科	目	試	専 門 科 目		

53. 2月 16 17 18 19 20 21 22  
 (木) (金) (土) (日) (月) (火) (水)

会場 東 京 (早稲田速記学校) 2/16～2/22 109名  
 大 阪 (大阪チサンホテル) 2/16～2/22 62名  
 大 阪 (大阪通信病院) 2/19 試 験  
 福 岡 (福岡大学医学部) 2/16～2/22 35名

第6回 認定証授与式

4月16日(土) 認定証授与者 39名

霞 山 会 館

第7回 認定証授与式

10月29日(土) 認定証授与者 37名

番 町 共 済 会 館

# 第10 メディカルクラーク通信教育

## 1. 第1回認定証授与式

12. 10 (土) 修了認定者 85名  
 場所・番町共済会館

## 2. 試 験

第1期生修了試験 (10月23日(日)) 東京会場 (家の光会館) 48名  
 近畿会場 (ホテル瀬戸内) 37名  
 第2期生前期試験 (2月11日(土)) 東京会場 (家の光会館) 31名  
 近畿会場 (京都府医師会館) 24名

## 3. 集中スクーリング

第1期生 後期集中スクーリング (4月15日～4月20日)

4 / 15(金)	4 / 16(土)	4 / 17(日)	4 / 18(月)	4 / 19(火)	4 / 20(水)
近 畿 地 区			東 京 地 区		

会場 近畿地区 (京都社会福祉会館) 4 / 15～4 / 17 (1日当り) 77名  
 東京地区 (公立学校共済組合) 4 / 18～4 / 20 66名

第2期生 前期集中スクーリング (8月17日～8月22日)

8 / 17(水)	8 / 18(木)	8 / 19(金)	8 / 20(土)	8 / 21(日)	8 / 22(月)
東 京 地 区			近 畿 地 区		

会場 東京地区 (公立学校共済組合) 8 / 17～8 / 19 (1日当り) 30名  
 近畿地区 (大阪通信会館) 8 / 20～8 / 22 47名

第2期生 後期集中スクーリング (2月12日～2月14日)

2 / 12(日)	2 / 13(月)	2 / 14(火)
東 京 地 区		近 畿 地 区
近 畿 地 区		東 京 地 区

会場 東京地区 (家の光会館) 2 / 12～2 / 14 (1日当り) 33名  
 近畿地区 (京都府医師会館) 2 / 12～2 / 13 30名  
 (京都社会福祉会館) 2 / 14

#### 4. 第2期生特別補講

1) 秋田補講 (10月15日(土)~10月16日(日))

会場 秋田市中通病院会議室

15名

科目 医療用語学, 医療事務

2) 東京・近畿補講

10/22 (土)	11/19 (土)	11/12 (土)
東京地区		近畿地区

会場 東京地区 (聖路加国際病院会議室) 10/22, 11/19

33名

近畿地区 (ホテル瀬戸内) 11/22

17名

科目 医療用語学

#### 5. 月例スクーリング

4月23日(土)	「医療用語学 その1」	聖路加国際病院会議室	13名
5月7日(土)	「医療用語学 その2」	聖路加国際病院会議室	9名
6月11日(土)	「外科学 その1」	番町共済会館	13名
6月18日(土)	「医療事務 その1」	東医健保会館	9名
7月9日(土)	「医療事務 その2」	番町共済会館	9名
7月16日(土)	「外科学 その2」	東医健保会館	7名
12月10日(土)	「病院管理学」	東医健保会館	5名
1月21日(土)	「医療事務 その1」	トラック健保会館	7名
3月18日(土)	「医療事務 その2」	トラック健保会館	7名

## 第11 病院監督者研修会

- |   |  |             |
|---|--|-------------|
| <p>6. 19 ~ 湯河原厚生年金会館<br/>24 日<br/>(日~金)</p>   | <p>(1) 特別講演<br/>「米国の医療事情と日本の医療」<br/>聖路加国際病院<br/>常務理事 落合勝一郎</p> <p>(2) 組織と監督者<br/>聖路加国際病院<br/>庶務課長 内藤 均</p> <p>(3) 仕事の管理<br/>佼成病院<br/>企画室長 三浦 秀夫</p> <p>(4) 仕事の改善<br/>武蔵野赤十字病院<br/>調度課長 緒方 広市</p> <p>(5) 部下の研修<br/>佼成病院<br/>放射線技師長 神田 幸助</p> <p>(6) グループ討議及び発表<br/>昭和大学病院<br/>検査技師長 平沢 政人</p> <p>(7) リーダーシップ<br/>日本大学板橋病院<br/>庶務課長 田中 栄一</p> <p>(8) 講演「監督者の役割」<br/>人事管理協会<br/>講師 酒井 暢</p> | <p>19 名</p> |
| <p>9. 12 ~ 公立学校共済組合<br/>14 日 本部<br/>(月~水)</p> | <p>(1) 職場リーダーのポジションと役割<br/>佼成病院<br/>放射線技師長 神田 幸助</p> <p>(2) 職場運営のポイント<br/>佼成病院<br/>企画室長 三浦 秀夫</p>  | <p>43 名</p> |

(3) 要求される創意工夫

武蔵野赤十字病院

調度課長 緒方 広市

(4) 職場研修のねらい

日大板橋病院

庶務課長 田中 栄一

(5) ケーススタディと発表

昭和大学病院

検査技師長 平沢 政人

(6) リーダーシップと相互理解

聖路加国際病院

庶務課長 内藤 均

2.15～ 大阪リバーサイドホテル  
17日  
(水～金)

15名

病院第一線リーダー研修会

昭和53年2月15～17日

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2月 15日 (水)	受開 付講 式	職場リーダーの ポジションと役割 (平沢)		昼  食	職 場 運 営 の ポ イ ン ト (平沢)	要 求 さ れ る 創 意 工 夫 (緒方)			
16日 (木)	職 場 研 修 の ね ら い (緒方)		ケ ー ス		ス タ デ ー	発 表  (田中)			
17日 (金)	リ ー ダ ー シ ッ プ と 相 互 理 解 (田中)			閉 講 式					



## 第14 会館建設発起人委員会

(順不同)

氏名	役職	病院名	県名	電話
堀口 銀二郎	委員長	堀口整形外科病院	和歌山県	0734-31-1271
内藤 景岳	副委員長	総合病院南大阪病院	大阪府	06-685-0221
徳岡 三郎	〃	大分県立病院	大分県	0975-32-5141
河野 稔	〃	北品川総合病院	東京都	03-474-0023
野村 秋守	委員	野村病院	東京都	0422-47-4848
菱山 博文	〃	福岡城南病院	福岡県	092-531-7031
岡山 義雄	〃	岡山病院	愛知県	052-221-1851
小原 知二郎	〃	小原病院	兵庫県	078-521-1222
高山 瑩	〃	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
平野 一彌	〃	港北耳鼻咽喉科病院	神奈川県	045-421-8945
中村 了生	〃	中村整形外科病院	和歌山県	0734-31-0351
財津 晃	〃	長浜赤十字病院	滋賀県	07496-3-2111
亀山 宏平	〃	中央総合病院	新潟県	0258-35-3700
伊藤 研	〃	大雄会病院	愛知県	0586-72-1211
島津 寿秀	〃	甲州中央温泉病院	山梨県	05526-2-3121
河崎 茂	〃	水問病院	大阪府	0724-46-1102
野村 益朗	〃	第一病院	東京都	03-607-0007
堀内 光	〃	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
織本 正慶	〃	織本病院	東京都	0424-91-2121
牧田 中	〃	牧田総合病院	東京都	03-762-4671
柏戸 正英	〃	柏戸病院	千葉県	0472-27-8366
小野 肇	〃	汐見台病院	神奈川県	045-761-3581

- |                   |                          |     |
|-------------------|--------------------------|-----|
| 11. 5(土) 家の光ビル    | (1) 発起人会の基本方針と今後の運営について  | 21名 |
| 12. 16(金) 食糧会館    | (1) 資金調達方法について具体的な検討     | 7名  |
|                   | (2) 会館建設用地についての再検討       |     |
|                   | (3) 会館建設の趣意書(案)の検討       |     |
| 1. 20(金) 京王プラザホテル | (1) 会館建設用地について検討         | 17名 |
| 2. 18(土) 番町共済会館   | (1) 資金調達についての検討          | 15名 |
|                   | (2) 候補地(品川)について、その後の経過報告 |     |



# 第15 第20回国際病院学会

## 1. 組織委員会

- |                     |                              |     |
|---------------------|------------------------------|-----|
| 4. 6(水) 番町共済会館      | (1) 募金について討議                 | 22名 |
|                     | (2) 修正予算案について                |     |
|                     | (3) 学会日程について                 |     |
|                     | (4) ゼネラル・インフォメーション・ガイド作成状況報告 |     |
|                     | (5) 参加申込状況                   |     |
|                     | (6) 業務進行計画について               |     |
| 4. 18(月) 番町共済会館     | (1) 募金状況により感謝状、記念品を送る件       | 17名 |
|                     | (2) ドキュメント・ケースのスポンサー名付記の件    |     |
|                     | (3) 参加者リストに多額寄付者名を加える件       |     |
|                     | (4) ジャパニーズ・バッジ配布の件           |     |
|                     | (5) 各協会長、医師会関係者等の来賓招待の件      |     |
|                     | (6) 日本病院会臨時特集号発行の件           |     |
|                     | (7) 日本人スタッフに学生アルバイトを使用する件    |     |
| 4. 28(木) 番町共済会館     | (1) 招待者について細部討議              | 17名 |
|                     | (2) 募金並びに免税措置の件              |     |
|                     | (3) ポスト・ kongress・ツアー申込状況の件  |     |
|                     | (4) ゼネラル・インフォメーション・ガイド確認の件   |     |
|                     | (5) ジャパニーズ・バッジ使用について         |     |
| 5. 14(土) プレスセンターホール | (1) 学会運行と社交行事運行の確認           | 24名 |
|                     | (2) I.H.Fとのジョイントミーティング打合事項確認 |     |
|                     | (3) 参加申込状況報告                 |     |
|                     | (4) 都知事主催レセプションの招待者について      |     |
|                     | (5) 広報活動について                 |     |
|                     | (6) 参加者への送付物について             |     |
|                     | (7) 募金状況報告                   |     |

5. 22 (日)	ホテルニューオータニ	} 第20回国際病院学会開催	
27 (金)	ホテルニューオータニ		
6. 4 (土)	トラック事業健保会館	(1)	国際病院学会終了報告 21名
7. 20 (水)	プレスセンターホール	(1)	感謝状の作成状況報告 23名
		(2)	収支決算概要
		(3)	記念論文集(報告書)
		(4)	その他

## 2. 病院見学打合せ会

4. 19 (火)	ホテルニューオータニ	(1)	病院見学準備の最終確認	
			○通訳(特に建築関係)	
			エスコート・ガイド	
			○見学コース	
			○パンフレット	
			○コーヒーブレイク、懇親会	
			○バス出発の手順、所要時間等	
			○外人の方優先	
		(2)	申込み受付について	
		(3)	Hospital Visits in Japan 作成状況	
		(4)	学会参加申込状況	
5. 6 (金)	番町共済会館	(1)	各病院説明のパンフレット作成状況	18名
		(2)	見学コース、見学グループ編成について	
		(3)	コーヒーブレイクの形式、規模、会場について	
		(4)	通訳(医学、建築)及び言語の種類	
		(5)	討議、概要説明の予定について	
		(6)	時間配分について	

## 3. ゲスト・プログラム委員会

5. 14 (土)	ホテルニューオータニ	(1)	受付方法	10名
			場所：ホテルニューオータニ	
			時間：5月22日～5月25日 9:00～17:00	
			人員：スタッフ 2名	
			○婦人優先とする	

(2) ツアーコース内容

Aコース：ニューオータニ／上野国立博物館／  
浅草／ニューオータニ

Bコース：ニューオータニ／畠山記念館（盤若  
苑）／ニューオータニ

○茶の湯、琴・尺八の演奏

Cコース：ニューオータニ／明治神宮／NHK  
／ニューオータニ

○Bコースが中心となる

(3) その他

ゲスト用の紙ばさみの配布は中止とする

4. 記念誌編集委員会

6.20(月)	番町共済会館	記念誌編集について	10名
7.18(月)	番町共済会館	記念誌編集について	10名
8.22(月)	番町共済会館	記念誌編集について	9名
9.29(木)	番町共済会館	記念誌編集について	10名
10.21(金)	番町共済会館	記念誌編集について	9名
11.24(木)	番町共済会館	記念誌編集について	10名
12.29(木)	番町共済会館	記念誌編集について	8名
1.13(金)	番町共済会館	記念誌編集について	10名
2.23(木)	番町共済会館	記念誌編集について	10名
3.20(月)	番町共済会館	記念誌編集について	7名

学会日程

( )部屋名

		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22(時)	
5月	日	登録-5/25まで受付 (登録場)									JOC主催 ウェルカムレセプション カクテルパーティー (八芳園)					
22日		IHF常任理事会(山吹)			IHF常任理事委員会(牡丹)			IHF常任理事会(山吹)								
23日	月	45 開会式 挨拶と祝辞 (全て国立劇場) 大劇場		30 ルネサード 記念講演 Nossal教授		15 45 チェアマン スピーカー ラポーター 行合せ会		IHF総会 各国代表者			30		観劇会 1部 能と狂言 2部 日本の踊りと太鼓			
24日	火	15 ①・大都市における医療の地域化(シドニー) ・医療の3つのレベル(マニラ) ・財政困難時の大都市医療(ニューヨーク) ②・電子機器の開発体制 ・電子機器の経済的利用 ・電子機器の安全管理				15 45 [A] アメリカ合衆国 の場合 (鳳凰東中) (鳳凰西)		4 5 15 ①・病院・予約病床予約のコンピューター化(ボゴタ) ・農村からの人口流入と医療(メキシコ) ・大都市における救急医療(東京) ・南米の大都市医療(サンパウロ) ③・医療チームの教育 ・医師の教育と教育病院 ・看護教育と看護の役割の拡大 ・医療補助者の教育		15 (鳳凰東中) (鳳凰西)		30 日病主催野外レセプション (聖路加国際病院)				
25日	水	15 ①・大都市における医療のモニタリング(トロント) ・精神医療と地域の参加(ロンドン) ・私の特志サービス(香港) 英語のみ ②・電子機器の計画的維持管理 ・開発途上国病院での供給とサービス ・地域における最適利用 ③・地域における医療補助者の活用 ・ラテン・アメリカの例 ・アフリカの例 ・東南アジアの例				15 (柱) (鳳凰西) (鳳凰東中)		4 5 [A] オーストラリア の場合		4 5 ④・地域医療と疫学序論 ・病院医療とプライマリ・ケアに 対する疫学の寄与 ・長期医療計画と疫学 ⑤・都市における病院の近代化		15 (柱) (鳳凰西) (鳳凰東中)		分科会 ①大都市における医療 ②医療における電子機器利用 ③医療補助者と医療チーム ④疫学と医療、特に計画と管理 ⑤都市における病院の近代化 [A]病院管理の経済的側面(日本側主催) [B]病院管理の教育プログラム		
26日	木	15 ①・地域医療の役割と疫学計画 ・医療担当者教育と疫学 ・医療の全体像と疫学 ④・都市計画と医療 パリ・リヨン・ブリュッセルの実例 フランス語のみ ⑤・都市における病院の近代化				15 (柱) (鳳凰西) (鳳凰東中)		4 5 [A] ドイツの 場合		4 5 IHF常任理事会 (山吹)		30 病院見学 -見学と懇話会- 都内12病院		IHF主催コンGRESS・ディナー 1部 挨拶 2部 日本の芸能 3部 ダンス・パーティー(芙蓉)		
27日	金	全体会議 (鳳凰)				30 45 閉会式 (鳳凰)		15		15						

□ 同時通訳(英仏西日)

## 1. 会議の名称

第20回 国際病院学会

20th International Hospital Congress

## 2. 主催機関の名称

主 催 社団法人 日本病院会

後 援 厚 生 省

文 部 省

## 3. 学会開催時期・場所

会 期 昭和52年 5月22日(日)～ 5月27日(金) 6日間

場 所 東京 (ホテル・ニューオータニ, 国立劇場)

## 4. 学会の母体機関

国 際 病 院 連 盟

International Hospital Federation

## 5. 学会の運営機関

社団法人 日本病院会・第20回国際病院学会組織委員会

## 6. 事務局

社団法人 日 本 病 院 会

東京都千代田区二番町2番地 (〒102)

番町共済会館内

Tel. 03-265-0077

## 7. 講演者及び講演内容

### 3M-René Sand Memorial Lecture:

"Scientific Research and Medical Progress—Nemesis or Nirvana?"  
by Sir Gustav Nossal, Director of the Walter and Eliza Hall  
Institute of Medical Research, Melbourne, (Australia)

### Discussion Groups

#### Group 1. Health care in big cities

Chairman: Dr. R.F. Bridgman, former Inspector-General of  
Social Affairs, Paris;  
former head of department, WHO (France)

#### Group 2: Electronic equipment for health services

Chairman: K. Kiikuni, Senior Research Fellow,  
Institute of Hospital Administration,  
Tokyo (Japan)

#### Group 3: Health auxiliaries and the health team

Chairman: Prof. E.M. Backett, Department of  
Community Health, University of  
Nottingham (UK)

#### Group 4: Epidemiology and health services planning and management

Chairman: Prof. Dr. J. Blanpain, Director,  
Centrum voor Ziekenhuiswetenschap  
der Katholieke Universiteit, Leuven  
(Belgium)

#### Group 5: Modernisation of hospitals in urban areas

##### Co-Chairmen:

Prof. Y. Yoshitake, University of  
Tsukuba, Tokyo (Japan)

R.J. Sahl, Secretary, Public Health Group,  
International Union of Architects; Director,  
Deutsches Krankenhausinstitut, Düsseldorf  
(German Federal Republic)

R.W. Allen, Architect, San Francisco (USA)

## Speakers

### Discussion Group 1

1. Dr. A.I. Adams (Australia)  
Sydney: The value or otherwise of regionalising metropolitan health services
2. Dr. G.G. Carreon (Philippines)  
Manila: The barangay—health centre linkage in the Metro Manila health and sanitation services
3. Dr. S.D. Pomrinse (USA)  
New York: Health care in a big city in a time of fiscal crisis
4. Dr. J. Arias (Colombia)  
Bogota: Health policy and planning for a big city
5. Dr. G. Fajardo (Mexico)  
Mexico City: Health services for migrants to city from rural areas
6. Dr. K. Takahashi (Japan)  
Tokyo: Emergency medical services
7. Prof. O. Pedroso (Brazil)  
Sao Paulo: Determining general hospital bed needs
8. R.A. Hay (Canada)  
Toronto: Procedures for monitoring health care
9. Mrs. E. Morgan (UK)  
London: Community involvement in mental health services
10. K—C Tong (Hong Kong)  
Hong Kong: Auxiliary medical services
11. Mrs. E. Errahmani (France)  
Paris: Organisation and utilisation of hospitals in the region of Greater Paris
12. J.M. Simon (France)  
Paris: Planning and organisation of the public hospitals of the city of Paris
13. Prof. J.Descy (Belgium)  
Brussels: Organisation of emergency services in the Brussels conurbation
14. M. Rochaix (France)  
Lyon: Planning and organisation of the hospitals in the Lyon conurbation

## Discussion Group 2

1. Y. Iwai (Japan)  
Development of electronic equipment — co-operation between hospitals and industry
2. J. Thorp (Sweden)  
Economic considerations in adopting electronic equipment
3. Dr. R. Kashida (Japan)  
Safety engineering and safety education
4. F. Kane (USA)  
Programmed maintenance of electronic equipment
5. Dr. S. Kaihara (Japan)  
Optimum utilisation of electronic equipment in hospital and community
6. Mrs. H.B. Richter and T.E. Barbosa Assumpcao (Brazil)  
Electronic equipment — supply and servicing in developing countries

## Discussion Group 3

1. Dr. S. Joseph (USA)  
Medical education and the role of the teaching hospital
2. Dr. Rebecca Bergman (Israel)  
Nursing education and the evolving role of the nurse
3. Dr. Z. Chowdhury (Bangladesh)  
Education and training of health auxiliaries
4. Dr. D. Werner (Mexico)  
Latin America
5. Dr. Docia Kisseih (Ghana)  
Africa
6. Dr. W. Djojosingito (Indonesia)  
South—East Asia
7. Film of Tanzania  
National change of policy
8. Dr. Nita Barrow (Jamaica)  
Local and non—governmental community development initiatives



#### Discussion Group 4

1. Prof. W.W. Holland (UK)  
Epidemiology in health services — a review of problems, methods and organisation
2. J.W. Owen (UK)  
Linking administration to community medicine and health services research
3. Dr. L. Breslow (USA)  
The contribution of community medicine and epidemiology to defining problems and offering solutions
4. Prof. R. Sharma (India)  
Community medicine and epidemiology in the education of health personnel — who should be trained and how
5. Prof. D.O. Anderson (Canada)  
Community medicine and epidemiology — their role in planning and priority-setting
6. Dr. A.I. Adams (Australia)  
Practical methods of application of epidemiology to the design of health services in New South Wales

#### Discussion Group 5

- Prof. M. Itoh (Japan)
- Dr. H. Goodman (UK)
- Dr. E. Putsep (Sweden)
- Dr. R. Weeks (UK)
- Dr. P. Parker (USA)
- Dr. J. Karman (Brazil)
- Dr. Jaenisch (E-Germany)
- Dr. R. Sahl (W-Germany)
- Dr. F. Stalder (Switzerland)
- Dr. J. Kruisheer (The Netherlands)
- Dr. V. Lundeberg (Sweden)

#### Rapporteurs

1. Dr. G. Cust (UK)
2. Dr. M. Saito (Japan)
3. Dr. Katherine Elliott (UK)
4. Dr. Y. Ohno (Japan)
5. Dr. Maria Perez Sheriff (Spain)

## 8. その他の行事

### (1)レセプション (カクテル・パーティ)

5月22日(日) 18:00~20:00

八芳園

### (2)観劇会

5月23日(月) 18:30~21:00

国立劇場 大劇場

有料 2,000円

### (3)野外レセプション (ビール・パーティ)

5月24日(火) 19:30~21:30

聖路加国際病院・庭

### (4)コンGRESS・ディナー

5月26日(木) 19:00~22:00

ホテル・ニューオータニ 本館1階芙蓉

有料 6,000円

### (5)病院見学

5月26日(火) 13:00(13:30)~17:00

見学先

a. 国立医療センター

b. 関東通信病院

c. 都立駒込病院

d. 東京都養育院附属病院

e. 東京都立松沢病院

f. 日本赤十字社医療センター

g. 東京都済生会中央病院

- h . 聖路加国際病院
- i . 北品川総合病院
- j . 立正佼成会付属佼成病院
- k . 順天堂医院
- l . 三井記念病院

(6)ゲストプログラム

Aコース	5月24日(火)	都内半日コース
Bコース	5月25日(水)	茶の湯、庭園コース
Cコース	5月26日(木)	都内半日コース

9 . 会議参加者

	正会員	同伴者	合計		正会員	同伴者	合計
オーストラリア	89	37	126	ガーナ	5		5
オーストリア	6		6	ギリシャ	1		1
バーレーン	2	2	4	ガテマラ	1		1
バングラデシュ	1		1	香港	8		8
ベルギー	10	3	13	ハンガリー	2		2
ブラジル	145	9	154	インド	3		3
カナダ	93	57	150	インドネシア	24	12	36
コロンビア	2		2	イラン	3	1	4
デンマーク	32	11	43	アイルランド	3		3
エジプト	1		1	イスラエル	6	2	8
フィンランド	21	11	32	イタリア	10	2	12
フランス	110	47	157	日本	412	21	433
西ドイツ	27	8	35	ケニア	4		4
東ドイツ	21	6	27	大韓民国	21		21

	正会員	同伴者	合計		正会員	同伴者	合計
クウェート	2		2	南アフリカ共和国	21		21
リベリア	1		1	スペイン	15	4	19
リビア	2	1	3	スーダン	1		1
マレーシア	2	1	3	スウェーデン	58	12	70
メキシコ	4		4	スイス	11	7	18
ザンビア	2		2	台湾	17	2	19
オランダ	83	44	127	タンザニア	4		4
ニュージーランド	6	1	7	タイ	2	1	3
ナイジェリア	15	1	16	トルコ	2		2
ノルウェー	14	6	20	ウガンダ	1	1	2
フィリピン	6		6	ソ連	1		1
ポルトガル	4	3	7	イギリス	31	6	37
プエルトリコ	4	2	6	USA	92	60	152
カーター	2		2	ヴェネズエラ	8	1	9
ルーマニア	1		1	ユーゴスラビア	44	2	46
サウジアラビア	3		3	国際連盟	5		5

---

計	正会員	1,527人
	同伴者	384人
	合計	1,911人

# 第16 第3回日本病院会学会

2,000名

11.18～ 名古屋市公会堂  
20  
(金～日)

## プログラム

		9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	16:00	17:00	17:30	18:00	19:30	
18 日 (金)	第1 会場	開 会 式	パネル ディスカッション 「救急医療」	特別講演 「衆生病む 故に 我病む」	昼 (評議員会 食)	パネルディスカッション 「病院の非常時対策」	シンポジウム 「植物状態 患者をめぐる 諸問題」										
	第2 会場	一般演題 病院経営 (1～9)		一般演題 薬剤(10～14) 予防指導(15～19) 病院管理(20～29) 図書文献(30～33)													
19 日 (土)	第1 会場	一般演題 栄養給食 (34～45)	特別講演 「放射線 診療今日の 趨勢」	昼  食	総 会	パネルディスカッション 「私の行ってきた病院 経営(私的病院の生き る道)」	シンポジウム 「これからの 看護教育に ついて」	移  動	病 院 人 の 集 い (全 員 懇 親 会) 中 日 ビ ル 5 F (中 日 パ レ ス)								
	第2 会場	一般演題 情報コンピューター (46～57)															一般演題 看護(58～67) 検査(68～73) 放射線(74～76) リハビリテーション(77～80) 医事紛争(81～82) 建築(83～84)
20 日 (日)	第1 会場	シンポジウム 「病院人事の 問題点」	特別講演 「医療の 将来と 病院」	閉 会 式													
	第2 会場	一般演題 職員訓練(85～88) 地域医療(89～93) 診療圏(94～97)															

(一般演題 104題)

## 第17 '77国際モダンホスピタルショウ

171,600名

5.26～31(木～火) 東京・晴海 国際貿易センター

テーマ：のびゆく医療明るい未来

主催：社団法人 日本看護協会 社団法人 日本病院会 社団法人 日本経営協会

後援：厚生省 通商産業省 外務省 東京都 日本貿易振興会

協賛：全日本ベット工業会 (社)日本電子機械工業会

(社)日本冷凍食品協会 (財)日本医療食協会

(社)日本厨房機器工業会 (社)日本病院建築協会

日本病院寝具協会 日本病院設備協会

日本放射線機器工業会 日本薬科機器協会

(社)日本病院薬剤師会 日本自動販売機工業会

(社)リース事業協会 (財)日本医薬情報センター

健康保険険合連合会 全国社会福祉協議会

(財)医療情報システム開発センター 日本製薬団体連合会

(順不動)

出品社数：139社

出品展数：約5,000点

展示面積：約2,200平方米

展示部門：事務管理部門 医療情報システム部門 施設設備部門 検査部門 医療機械部門  
医療材料部門 看護部門 給食部門 リハビリテーション部門 ハウスキーピング  
部門 インテリア照明部門 建築部門 医療機器部門 放射線部門 調剤製材機器  
部門 その他

開会挨拶および  
テーブルカット：(社)日本病院会 会長 阿久津 慎

(社)日本看護協会専務理事 小島 ユキエ

'77国際モダンホスピタルショウ実行委員長

河野 稔

(敬称略)

入場者実績：第1日：5月26日(木)	27,700名	(外国人	970名)
第2日：5月27日(金)	29,600名	( "	720名)
第3日：5月28日(土)	32,100名	( "	120名)
第4日：5月29日(日)	18,900名	( "	320名)
第5日：5月30日(月)	26,400名	( "	450名)
第6日：5月31日(火)	36,900名	( "	1,100名)
合計	171,600名	( "	3,680名)

- 附 帯 事 業：(1)モデル病室展  
(2)日本の鍼コーナー  
(3)医療情報システム展  
(4)病院建築パネル展  
(5)家庭ホスピタルコーナー  
(6)医療関係図書コーナー  
(7)献血コーナー

同時開催事業：世界の看護展

## 第18 第1回日本診療録管理学会

560名

5.20～21（金～土） 東京都 砂防会館ホール

学会長 日野原 重 明（聖路加看護大学学長）

1. 一 般 演 題：（18題）

2. 特 別 講 演：(1)職業とコミュニケーション

国際キリスト教大学教授 齋 藤 美津子

(2)第9回修正ICDの主要改訂点について

厚生省統計情報部管理課疾病傷害死因分類調査室長 上 田 フ サ

3. 特 別 報 告：病歴中央管理の現状について（第2報）

杏林大学医学部病院管理学教室 教授 高 橋 政 祺



第19 第18回人間ドック学会

300名

8.26～  
27  
(金～土) 東京都 第一生命ホール

(1) 会長講演「正常値と基準値」

三井記念病院 清瀬 闊

司会 東京都済生会中央病院 堀内 光

(2) 特別講演「アルコール性肝硬変症」

独協大学内科 原田 尚

司会 関東中央病院 樫田 良精

(3) 特別講演「乳がんの診断に関する最近の進歩」

埼玉ガンセンター 藤森 正雄

司会 佼成病院 小野田敏郎

(4) シンポジウム「ドッグ受診後の栄養指導について」

— 特に肥満、糖尿病、高血圧症患者に対して —

司会 東京都済生会中央病院 田中 剛二

(5) ワークショップ「ドッグ成績の判定基準について」

— 特に肝機能検査について —

司会 京都第二赤十字病院 小関 忠尚

(6) 一般演題 (41題)

## 第20 病院医療危機突破大会

681名

10.28(金) 第一生命ホール

### 大会スローガン

病院医療費の適正化をはかれ

国民の生命を守るために

- (1) 入院料を中心に20%以上の医療費改定を直ちに実施せよ
- (2) 医療技術料に対し適正な診療報酬を設定せよ
- (3) 施設管理料  
安全管理料を新設せよ
- (4) 病院税制を抜本的に改正せよ

### 大会次第

- (1) 開 会 宣 言
- (2) 議 長 団 選 出  
吉 岡 観 八 (大 阪)                      浜           光 治 (和歌山)
- (3) 会 長 挨 拶
- (4) 協 賛 団 体 紹 介
- (5) 来 賓 祝 辞
- (6) 祝 電 披 露
- (7) 報                      告
- (8) 議                      事
  - (1) 地域医療の推進と社会福祉の向上に関する件
  - (2) 診療報酬の大巾引き上げに関する件
  - (3) 施設安全管理料の新設に関する件
  - (4) 病院税制の改正に関する件
- (9) 各 地 代 表 意 見  
近           畿 (有 澤 源 三)
- (10) 大 会 宣 言 決 議
- (11) 陳 情 団 編 成
- (12) 閉 会 挨 拶

## 第21 図書の出版

	病院へのコンピュータ導入の早わかり（増刷）	1,000部
	外科手術診断およびその他の治療処置分類表・対訳版（新刊）	1,000部
	母親学級テキスト（増刷）	3,000部
保 健 叢 書	糖尿病（改定版）	2,000部
	病医院へのコンピュータ導入ハンドブック（新刊）	800部

## 昭和 52 年度勉強会委員名簿

◎委員長 ○副委員長 △編集委員 順不同

### 1. 病院診療部会

◎柴田義一	名誉院長	東芝林間病院	0427-42-3577
△○山本修	教授	都立看護専門学校	03-941-9321
堀内光	院長	東京都済生会中央病院	03-451-8211
北原哲夫	副院長	東京通信病院	03-261-8211
伊藤保彦	副院長	東京厚生年金病院	03-269-8111
嶋田和正	院長	都立大塚病院	03-941-8131
浜田博之	健康管理科部長	関東通信病院	03-448-6651
篠塚輝治	院長	都立豊島病院	03-961-3281

### 2. 事務管理部会

◎上林三郎	事務長	聖路加国際病院	03-541-5151
△平野栄次	事務長	駿河台日大病院	03-293-1711
東義晴	事務部長	東京武蔵野赤十字病院	0422-32-3111
黒田幸男	事務長	東京都済生会中央病院	03-451-8211
滝沢喜七	理事長	新潟小千谷総合病院	025882-3600
土橋明次	事務長	千葉柏戸病院	0472-27-8366
落合勝一郎	常務理事	聖路加国際病院	03-541-5151
石原信吾	経営管理部長	病院管理研究所	03-203-5327
井上昌彦	副院長	岡山県川崎医科大学附属病院	0864-62-1111
沢田光正	事務次長	佼成病院	03-383-1281

### 3. 医事研究会

研究会顧問

落合勝一郎	常務理事	聖路加国際病院	03-541-5151
山崎信夫	分院事務長	虎の門分院	044-877-5111
◎三上晃	医事係長	三井記念病院	03-862-9111
○斉藤寿明	外来患者主任	聖路加国際病院	03-541-5151

安藤秀雄	事務長	社保蒲田総合病院	03-738-8221
加藤雄二	医事課長	東京都済生会中央病院	03-451-8211
伊沢正雄	医事課長	日本通運東京病院	03-946-5151
岩瀬英二	医事課長	織本病院	0424-91-2121
芹澤好一	医事課長	佼成病院	03-383-1281
△徳永貴士	医事課長	杏林大学医学部付属病院	0422-47-5511
平林和玄	医事係長	公立昭和病院	0424-61-0052
佐竹明男	外来係長	駿河台日大病院	03-293-1711
松尾茂	医事係長	東京厚生年金病院	03-269-8111
小田博夫	医事課長	山田総合病院	03-962-5051

#### 4. 庶務人事研究会

研究会顧問

石原信吾	経営管理部長	病院管理研究所	03-203-5327
○石山稔	労務課係長	聖路加国際病院	03-541-5151
◎冲山俊雄	庶務課長	虎の門病院	03-583-6871
△松田詔	総務課係長	東京警察病院	03-263-1371
入山和太次	庶務課長	東京武蔵野赤十字病院	0422-32-3211
鈴木摂子	庶務人事係長	河北病院	03-339-2121
島田雅弘	庶務係長	三楽病院	03-292-3981
西浦捷裕	人事係長	東京衛生病院	03-392-6151

#### 5. 用度研究会

研究会顧問

落合勝一郎	常務理事	聖路加国際病院	03-541-5151
◎塩山雅英	用度課長	聖路加国際病院	03-541-5151
△○本田力	用度課長	虎の門病院	03-583-6871
石田正雄	用度課長	東京警察病院	03-263-1371
古谷一信	給食課次長	聖路加国際病院	03-541-5151

杉本晃一	施設用度部長	織本病院	0424-91-2121
園田仙之助	用度課長	山田総合病院	03-962-5051
梅津勝男	庶務係長	日比谷病院	03-502-7231
樋口義弘	病院共栄会常務	北品川総合病院	03-474-4363

## 6. 施設研究会

### 研究会顧問

落合勝一郎	常務理事	聖路加国際病院	03-541-5151
◎倉持一雄	施設課長	自治医科大学	02854-4-2111
○石原英世	施設課長	東京警察病院	03-263-1371
△中西照録	主事	都立豊島病院	03-961-3281
松岡文男	技師長	癌研付属病院	03-918-0111
中島昭二郎	施設課長	北品川総合病院	03-474-5861
佐々木賢一	施設課長	聖路加国際病院	03-541-5151
増淵清	施設課次長	佼成病院	03-383-1281
黒岩久雄	整備課長	聖マリアンナ医科大学病院	044-977-8111

## 7. 会計経理研究会

### 研究会顧問

石原信吾	経営管理部長	病院管理研究所	03-203-5327
◎酒泉春雄	事務長	河北病院	03-339-2121
○清水五郎	経理課長	北品川総合病院	03-474-1351
△横山達治	会計係長	聖路加国際病院	03-541-5151
戸張義明	会計係長	三楽病院	03-292-3981
橋本レツ子	会計課長	虎の門病院	03-583-6871
佐藤武雄	経理課長	豊洲厚生病院	03-532-1171
今村忍	会計主任	東京衛生病院	03-392-6151

## 8. 労務研究会

研究会顧問

落合 勝一郎	常務理事	聖路加国際病院	03-541-5151
◎岡野 博	人事課長	佼成病院	03-383-5151
△白石 太郎	医事課長	聖路加国際病院	03-541-5151
稲垣 武	企画調査	済生会向島病院	03-614-2259
増岡 清二	庶務係長	東京武蔵野赤十字病院	0422-32-3111
長谷川 伸	企画室	東京都済生会中央病院	03-451-8211

## 9. 看護管理部会

◎宮原 仮江	総婦長	関東通信病院	03-448-6540
○岩間 千代子	総婦長	九段坂病院	03-262-9191
△佐藤 キク	婦長	駿河台日大病院	03-293-1711
阿部 美津子	総婦長	永寿総合病院	03-833-8381
石井 智恵子	副主幹	東京都衛生局	03-633-6151
内田 卿子	総婦長	聖路加国際病院	03-541-5151
辛島 佐代子	婦長	日本赤十字社医療センター	03-400-1311
木村 千枝子	総婦長	東京日立病院	03-831-2181
嶋崎 佐智子	総婦長	東京警察病院	03-263-1371
杉山 晴子	婦長	慶応義塾大学病院	03-353-1211

## 10. 薬事管理部会

◎古川 正	薬剤部長	東京警察病院	03-263-1371
○水野 謹爾	薬剤部長	新宿赤十字産院	03-202-3221
△原田 益夫	薬局長	河北病院	03-359-2121
伊藤 誠二	薬剤部長	東京厚生年金病院	03-269-8111
広瀬 朝次	薬局長	順天堂医院	03-813-3111
浅見 信子	薬剤部長	社会保険蒲田総合病院	03-738-8221
関 博	薬剤部長	東京船員保険病院	03-443-9191
宮家 淳	薬剤部長	東京都済生会中央病院	03-451-8211

三島 ゆり	薬剤部長	社会保険中央総合病院	03-200-0251
藤井 常男	薬局長	東京白十字病院	0423-91-6111
高島 常久	薬剤部長	東京慈恵医大病院	03-433-1111

## 11. 栄養管理部会

### 部会顧問

野村 秋守	院長	野村病院	0422-47-4848
◎山本 麻喜子	調理室主任	東京衛生病院	03-392-6151
○松本 重子	栄養部長	東京厚生年金病院	03-269-8111
△長谷川 秀子	栄養係長	関東通信病院	03-448-6011
神田 紀子	栄養科長	駿河台日大病院	03-293-1711
馬場 昂	栄養科長	東京都立豊島病院	03-961-3281
中川 渉男	栄養科主任	日本専売公社東京病院	03-451-8121
佐藤 節夫	栄養課長	順天堂医院	03-813-3111
鶴田 まさ子	栄養士	関東中央病院	03-429-1171
中野 超	栄養科主任	京都市立病院	075-311-5311
久保 昌子	給食係長	芦屋市民病院	0797-31-2156
大政 翠	栄養部長	大阪厚生年金病院	06-441-5451
下条 都	栄養科長	西陣病院	075-461-8800

## 12. 調理管理研究会

◎京須 寿雄	栄養科長補佐	駿河台日大病院	03-293-1711
○福村 安治	調理主任	順天堂医院	03-813-3111
高山 一郎	主任調理師	東京中央病院	03-429-1171
倍賞 玉之助	調理師主任	東京衛生病院	03-392-6151
石井 千鶴子	調理師主任	北品川総合病院	03-474-0023



### 13. 診療録管理部会

△◎高橋政祺	教授	杏林大学医学部	0422-47-5511
○田中敏行	副院長	大阪通信病院	06-771-0545
竹村 喬	産婦人科部長	大阪通信病院	06-771-0545
栗田静枝	診療記録管理室長	聖路加国際病院	03-541-5151
大町文子	元医事記録室主任	日本パプテスト病院	075-701-8016
秋山都美	病歴部	聖マリアンナ医科大学病院	044-977-6470
三竹年世子	病歴室	杏林大学医学部附属病院	0422-47-5511
戸川登美子	資料係	関東通信病院	03-448-6685
宮本順子	病歴士		
内山越海子	病歴室 (看護科婦長)	都立豊島病院	03-961-3281

### 14. 中小病院管理部会

◎高山 瑩	院長	高山整形外科病院	03-607-3260
笠木茂伸	副院長	北品川総合病院	03-474-5861
△鎌田利雄	理事	北品川総合病院	03-472-4631
秋島勲郎	副院長	野村病院	0422-47-4848
寺嶋順一	事務長	亀田総合病院	04709-2-2211
○細田健二	副院長	関川総合病院	03-803-5151
加藤賢二	事務局長	総合高津中央病院	044-822-6121
石田貞治	事務局長	大口病院	045-401-3861
矢作忠政	会長	京浜総合病院	044-777-3251
織本良子	専務理事	織本病院	0424-91-2121
樋口重太郎	事務部長	中野総合病院	03-382-1231
淵沢みさえ	総婦長	牧田総合病院	03-762-4671
錦織ハナ	総婦長	北品川総合病院	03-474-5861
石橋秀雄	院長	目蒲病院	03-759-8885
望月和昭	院長	常盤台外科病院	03-960-7211
今井房江	総婦長	社会保険蒲田総合病院	03-738-8221

## 15. 放射線部会

### 部会顧問

野辺地 篤 郎	放射線科医長	聖路加国際病院	03-541-5151
西 田 義 夫	放射線科部長	佼 成 病 院	03-383-1281
榊 原 聡 彦	教 授	日 大 板 橋 病 院	03-972-8111
◎荻 原 淳	技 師 長	北 里 大 学 病 院	0427-78-8400
○川 添 修 身	レントゲン室長 補 佐	聖マリアンナ医大東横病院	044-722-2121
△虎 渡 勇 二	技 術 科 長	同 愛 記 念 病 院	03-625-6381
栗 田 道 雄	主 任 技 師	関 東 通 信 病 院	03-448-6226
妹 尾 昭 一	技 師 長	都 立 墨 東 病 院	03-633-6151
大 内 周 信	主 任 技 師	聖路加国際病院	03-541-5151
河 野 通 孝	技 師 長	北 品 川 総 合 病 院	03-474-1831
大 谷 英 尚	技 師 長	東 京 女 子 医 大 病 院	03-353-8111
舩 橋 哲 哉	技 師 長	都 立 大 久 保 病 院	03-209-3201
藤 田 良 三	技 師 長	河 井 病 院	03-951-9116
野 村 任	科 長	浦 和 市 立 病 院	0488-73-4111

## 16. 臨床検査管理部会

### 部会顧問

井 川 幸 雄	教 授	東京慈恵会医大付属病院	03-433-1111
河 野 均 也	助 教 授	日 大 板 橋 病 院	03-293-1711
◎藤 沢 政 人	技 師 長	順 天 堂 医 院	03-813-3111
○佐 藤 和 身	技 師 長	駿 河 台 日 大 病 院	03-293-1711
△平 沢 政 人	技 師 長	昭和大学医学部付属病院	03-784-1151
真 鍋 真 之	検 査 科 長	東 京 白 十 字 病 院	0423-91-6111
吉 岡 稔	検 査 科 長	成 田 赤 十 字 病 院	0476-22-2311
後 藤 直 昭	技 師 長	社 保 船 橋 中 央 病 院	0474-33-2111
河 喜 多 龍 祥	技 師 長	東 海 大 学 病 院	0463-93-1121
福 井 清 一	中央検査部係長	東京慈恵会医大付属病院	03-433-1111

## 17. ハウスキーピング部会

### 部会顧問

石原信吾	経営管理部長	病院管理研究所	03-203-5327
◎近藤英二	ハウスキーピング課長	聖路加国際病院	03-541-5151
○粕谷良	整備課長	虎の門病院	03-583-6871
△小田桐信子	ハウスキーパー	慶応義塾大学病院	03-353-1211
水野淑子	リネン係長	順天堂医院	03-813-3111
秋山より子	ハウスキーピング科長	初声荘病院	0468-88-2145
古田正	ハウスキーピング主任	東京衛生病院	03-392-6151

## 18. 病院監督者研修部会

### 部会顧問

落合勝一郎	常務理事	聖路加国際病院	03-541-5151
◎田中栄一	庶務課長	日大板橋病院	03-972-8111
三浦秀夫	企画調査室長	佼成病院	03-383-1281
緒方広市	調度課長	東京武蔵野赤十字病院	0422-32-3111
内藤均	庶務課長	聖路加国際病院	03-541-5151
平沢政人	技師長	昭和大学医学部付属病院	03-784-1151
神田幸助	放射線技師	佼成病院	03-383-1281

## 19. 図書室部会

◎後藤久夫	中央図書室 主事・司書	東京都養育院付属病院	03-964-1131
○三竹年世子	病歴室	杏林大学医学部付属病院	0422-47-5511
△足立純子	図書室・司書	聖路加国際病院	03-541-5151
小田谷律子	図書室・主任司書	佼成病院	03-382-1281
安川文子	研究・普及室 図書室主事・司書	神奈川県立こども医療センター	045-711-2351

## 昭和 52 年度各種委員会委員名簿

### 1. 教育委員会

三宅史郎	委員長	国立甲府病院	山梨県	0552-53-6131
大野松次	副委員長	京浜総合病院	神奈川県	044-777-3251
東義晴	委員	東京武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111
石原信吾	委員	病院管理研究所	東京都	03-203-5327
内田卿子	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
落合勝一郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
笠木茂伸	委員	北品川総合病院	東京都	03-474-5861
川北祐幸	委員	順天堂医院	東京都	03-813-3111
北原哲夫	委員	東京通信病院	東京都	03-261-8211
高山瑩	委員	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
古川正	委員	東京警察病院	東京都	03-263-1371

### 2. 病院制度委員会

渡辺茂夫	委員長	国立熱海病院	静岡県	0557-81-9171
石井敬	副委員長	中央鉄道病院	東京都	03-379-1111
石原信吾	委員	病院管理研究所	東京都	03-203-5327
一条勝夫	委員	自治医科大学	栃木県	02854-4-2111
井上昌彦	委員	川崎医科大学病院	岡山県	0862-25-2111
尾口平吉	委員	全国自治体病院協議会	東京都	03-261-8556
尾村偉久	委員	国立小児病院	東京都	03-414-8121
織畑秀夫	委員	東京女子医科大学	東京都	03-353-8111
柴田義一	委員	東芝林間病院	神奈川県	0427-42-3577
田中恒男	委員	東京大学医学部	東京都	03-812-2111
千田通	委員	全社連	東京都	03-445-0800
千葉保之	委員	中央鉄道病院	東京都	03-751-2371
土屋呂武	委員	済生会福岡総合病院	福岡県	092-771-8151
橋本寿三郎	委員	病院管理研究所	東京都	03-203-5327
室賀不二男	委員	都立看護専門学校	東京都	03-941-5319
守屋博	委員	順天堂医院	東京都	045-323-1458

山本	修	委員	都立看護専門学校	東京都	03-941-9321
吉田	幸雄	委員	聖マリアンナ医大病院	神奈川県	0466-22-8002

### 3. 学術委員会

一条	勝夫	委員長	自治医科大学	栃木県	02854-4-2111
川北	祐幸	副委員長	順天堂医院	東京都	03-813-3111
小野	丞二	委員	東邦大学医学部附属大森病院	東京都	03-762-4151
織本	正慶	委員	織本病院	東京都	0424-91-2121
開原	成允	委員	東大病院電算企画室	東京都	03-815-5411
笠木	茂伸	委員	北品川総合病院	東京都	03-474-5861
小山	三郎	委員	大阪赤十字病院	大阪府	06-771-5131
島内	武文	委員	秋田労災病院	秋田県	0186-25-3131
関	武矩	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
高橋	政祺	委員	杏林大学医学部	東京都	0422-47-5511
牧野	永城	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
三宅	史郎	委員	国立甲府病院	山梨県	0552-53-6131
三宅	浩之	委員	関東逋信病院	東京都	03-448-6111
吉岡	観八	委員	新千里病院	大阪府	068-71-0121
吉田	幸雄	委員	聖マリアンナ医科大学	神奈川県	044-977-8111

### 4. 臨床予防医学委員会

堀内	光	委員長	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
樫田	良精	副委員長	関東中央病院	東京都	03-429-1171
水野	近	副委員長	三井健康保険組合	東京都	03-241-1401
安藤	幸夫	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
飯田	晶	委員	東芝中央健診センター	東京都	03-764-0511
宇津	典彦	委員	久留米大学附属病院	福岡県	09422-5-3311
小関	忠尚	委員	京都第二赤十字病院	京都府	075-231-5171
金沢	鉄男	委員	青森県立中央病院	青森県	0177-23-3311
清瀬	闊	委員	三井記念病院	東京都	03-862-9111
笹森	典雄	委員	牧田総合病院	東京都	03-762-4671

鈴木 豊明	委員	東京警察病院	東京都	03-263-1371
高橋 春雄	委員	愛知県総合保険センター	愛知県	052-962-5371
田中 剛二	委員	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
丹野 三男	委員	仙台市立病院	宮城県	0222-25-7151
寺田 由紀夫	委員	大阪赤十字病院	大阪府	06-771-5121
日野原 重明	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
藤間 弘行	委員	藤間病院	埼玉県	0485-22-9608
松岡 研	委員	大阪PL健康管理センター	大阪府	06-241-0221
三木 徹	委員	丸山病院	兵庫県	078-691-1031
吉植 庄平	委員	青梅市立総合病院	東京都	0428-2-3191

## 5. 通信教育委員会

高橋 政祺	委員長	杏林大学医学部	東京都	0422-47-5511
田中 敏行	副委員長	大阪通信病院	大阪府	06-771-0545
犬塚 貞光	委員	福岡大学病院	福岡県	092-801-1011
大町 文子	委員	日本バプテスト病院元主任	京都府	075-701-8016
落合 勝一郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
笠井 良一	委員	日本バプテスト病院	京都府	075-781-5191
栗田 静枝	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
酒井 隆子	委員	京都市立病院	京都府	075-311-5311
杉本 久	委員	病院コンサルタント	東京都	03-333-7432
高野 昭	委員	宮城県衛生部保健管理課長	宮城県	0222-63-6111
竹村 喬	委員	大阪通信病院	大阪府	06-771-0545
三上 晃	委員	三井記念病院	東京都	03-862-9111
室賀 不二男	委員	都立看護専門学校	東京都	03-941-5319
一条 勝夫	委員	自治医科大学	栃木県	02854-4-2111
石原 信吾	委員	厚生省病院管理研究所	東京都	03-203-5327
東 義晴	委員	東京武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111
中村 彰吾	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151

## 6. コンピュータ委員会

三宅浩之	委員長	関東通信病院	東京都	03-448-6537
青山松次	副委員長	鳥海病院	神奈川県	0468-65-3133
青木禧和	委員	神奈川県総合 リハビリテーションセンター	神奈川県	0462-24-2111
池田博	委員	東京慈恵会医科大学病院	東京都	03-433-1111
五百蔵速雄	委員	森下胃腸病院	神奈川県	0427-42-5055
岩塚徹	委員	愛知県総合保健センター	愛知県	052-962-5371
岡田行雄	委員	日本電々公社データ通信本部	東京都	03-509-5600
菊地二郎	委員	大阪回生病院	大阪府	06-371-6234
斉藤誠	委員	虎の門病院	東京都	03-583-6871
桜井栄光	委員	東京大学附属病院	東京都	03-815-5411
里村洋一	委員	千葉大学医学部	千葉県	0472-22-7171
水野精己	委員	豊洲厚生病院	東京都	03-532-1171
山本信吾	委員	北品川総合病院	東京都	03-474-5861
他協力委員				

## 7. 編集委員会

秋山博	委員長	済生会川口総合病院	埼玉県	0482-53-1551
北原哲夫	副委員長	東京通信病院	東京都	03-261-8211
鎌田利雄	委員	北品川総合病院	東京都	03-472-4631
高橋政祺	委員	杏林大学医学部	東京都	0422-47-5511
吉岡観八	委員	新千里病院	大阪府	068-71-0121
他、協力委員、部会・研究会編集委員				

## 8. 国際委員会

落合勝一郎	委員長	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
国重信彦	委員	佼成病院	東京都	03-383-1281
斎藤寿明	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
関武矩	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
高橋勝三	委員	東京武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111

## 9. ホスピタルショウ委員会

河野 稔	委員長	北品川総合病院	東京都	03-474-0023
青山 松次	副委員長	鳥海病院	神奈川県	0468-65-3133
大野 松次	委員	京浜総合病院	神奈川県	044-777-3251
落合 勝一郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
紀伊国 献三	委員	筑波大学	茨城県	0298-57-4911
澤崎 博次	委員	関東通信病院	東京都	03-443-6111
高山 瑩	委員	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
野村 秋守	委員	野村病院	東京都	0422-47-4848
安永 貞雄	委員			
吉武 泰水	委員	筑波大学	茨城県	0298-57-4511

## 10. 広報委員会

野村 秋守	委員長	野村病院	東京都	0422-47-4848
吉岡 観八	副委員長	新千里病院	大阪府	068-71-0121
内海 栄一郎	委員	総合新川橋病院	神奈川県	044-222-2111
熊田 正春	委員	日吉病院	神奈川県	044-631-7373
黒田 幸男	委員	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
島津 寿秀	委員	甲州中央温泉病院	山梨県	05526-2-3121
遠山 豪	委員	遠山病院	三重県	0592-27-6171
菱山 博文	委員	福岡城南病院	福岡県	092-531-7031
安田 俊吉	委員	広野高原病院	兵庫県	078-994-1155

## 11. 組織委員会

島津 寿秀	委員長	甲州中央温泉病院	山梨県	0556-2-3121
高山 瑩	副委員長	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
相沢 正樹	委員	相沢病院	長野県	0263-33-8600
大道 学	委員	大道病院	大阪府	06-962-0061
財津 晃	委員	長浜赤十字病院	滋賀県	07496-2-2111
土屋 定敏	委員	松山赤十字病院	愛媛県	0899-24-1111
中 畠 健	委員	新潟県立吉田病院	新潟県	02569-2-5111



中村了生	委員	中村整形外科外科病院	和歌山県	0734-31-0351
平塚秀雄	委員	平塚胃腸病院	東京都	03-982-1161
兵働貞夫	委員	浜の町病院	福岡県	092-721-0831
福井順	委員	福井病院	長崎県	0958-71-1515
森鉄雄	委員	森事務所	東京都	03-264-1627
矢野尾三郎	委員	天王寺病院	大阪府	06-779-1401

## 12. 医療費問題委員会

高山肇	委員長	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
吉崎芳雄	副委員長	厚生連	東京都	03-279-0311 (内) 3351
一条勝夫	委員	自治医科大学	栃木県	02584-4-2111
大道学	委員	大道病院	大阪府	06-962-0061
緒方廣市	委員	東京武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111
河崎茂	委員	水間病院	大阪府	0724-46-1102
黒田幸男	委員	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
篠崎功	委員	篠崎病院	神奈川県	045-371-0038
塚田泰秀	委員	東京武蔵野病院	東京都	03-956-2136
野村益朗	委員	第一病院	東京都	03-607-0007
樋口重太郎	委員	中野総合病院	東京都	03-382-1231
細田健二	委員	関川総合病院	東京都	03-803-5151
矢作忠政	委員	京浜総合病院	神奈川県	044-777-3251
村上正敏	委員	日本病院会事務局	東京都	03-265-0077

## 13. 看護制度委員会

小野肇	委員長	大口病院	神奈川県	045-401-3861
山田里津	副委員長	三井記念高等看護学院	東京都	03-862-9111
青木康子	委員	東京都立広尾高等看護学院	東京都	03-444-2375
赤星一郎	委員	聖マリア高等看護学院	福岡県	0942-35-3322
今村栄一	委員	国立小児病院	東京都	03-414-8121
大谷昌美	委員	神奈川県立看護教育大学校	神奈川県	045-623-0586
大野松次	委員	京浜総合病院	神奈川県	044-777-3251

加納 穰	委員	大阪府医師会看護専門学校	大阪府	06-772-8685
紀伊国 献三	委員	筑波大学	茨城県	0298-57-4911
岸口 繁	委員	府中病院	大阪府	0725-411-1646
松沢 孝子	委員	北里大学病院	神奈川県	0427-78-8111
矢野 政子	委員	都立府中病院	東京都	0423-23-5111
吉武 香代子	委員	千葉大学看護学部	千葉県	0472-22-7171

#### 14. 地域医療委員会

若月 俊一	委員長	佐久総合病院	長野県	026782-3131
小口 源一郎	副委員長	昭和伊南総合病院	長野県	02642-2703
大村 潤四郎	委員	厚生団	東京都	03-354-8881
笠木 茂伸	委員	北品川総合病院	東京都	03-474-5861
紀伊国 献三	委員	筑波大学	茨城県	0298-57-4911
行天 良雄	委員	NHK科学産業番組班	東京都	03-465-1111
鈴木 淳	委員	琉球大学付属病院	沖縄県	0988-54-0215
宮地 知男	委員	宮地病院	兵庫県	078-451-1221
守屋 博	委員	順天堂医院	東京都	045-323-1458
諸橋 芳夫	委員	旭中央病院	千葉県	0796-2-0330
米田 啓二	委員	全国自治体病院協議会	東京都	03-261-8556

#### 15. 労務委員会

黒田 幸男	委員長	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
長崎 太郎	副委員長	救世軍ブース記念病院	東京都	03-381-7236
東 義晴	委員	武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111
大久保 才一	委員	天王寺病院	大阪府	06-779-1401
岡野 博	委員	佼成病院	東京都	03-383-1281
織本 良子	委員	織本病院	東京都	0424-91-2121
栗原 ヤマ	委員	虎の門病院	東京都	03-583-6871
白石 太郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
細田 健二	委員	関川総合病院	東京都	03-803-5151

16. 年金・税制・厚生委員会

小原知次郎	委員長	小原病院	兵庫県	078-521-1222
(年金・厚生)				
有澤源蔵	副委員長	有澤病院	大阪府	0720-47-2606
赤座齊	委員	赤座病院	岐阜県	0583-83-0138
天野健	委員	石和温泉病院	山梨県	05526-3-0111
安保喜久郎	委員	山本病院	三重県	0594-22-1211
石黒吉藤	委員	静岡厚生病院	静岡県	0542-71-7177
石田貞治	委員	大口病院	神奈川県	045-401-3861
伊藤研	委員	大雄会病院	愛知県	0586-72-1211
上嶋潔	委員	鳥取赤十字病院	鳥取県	0857-22-6121
薄田隼男	委員	南大阪病院	大阪府	06-685-0221
榎本敏雄	委員	静岡厚生病院	静岡県	0542-71-7177
遠藤香苗	委員	和歌浦中央病院	和歌山県	0734-44-1600
北村常也	委員	鳥取赤十字病院	鳥取県	0857-22-6121
久保真一	委員	聖病院	岐阜県	0582-71-5533
坂上義和	委員	堀口整形外科病院	和歌山県	0734-31-1271
土屋章	委員	渕野辺病院	神奈川県	0427-54-2222
中野久寿男	委員	日本バプテスト病院	京都府	075-781-5191
中橋彌光	委員	西陣病院	京都府	075-461-8800
仁科義平	委員	川崎医科大学付属病院	岡山県	0862-25-2111
西本順次郎	委員	広島精神科小児科病院	広島県	0822-71-4271
畠山精治	委員	遠山病院	三重県	0592-27-6171
原安彦	委員	香椎原病院	福岡県	092-68-5020
原義人	委員	旭ヶ丘病院	岡山県	0826-52-1185
細田精一	委員	済生会滋賀県病院	滋賀県	07755-2-1211
松本俊子	委員	広島精神科小児科病院	広島県	0822-71-4271
松本治夫	委員	済生会滋賀県病院	滋賀県	07755-2-1221
宮原文雄	委員	山梨温泉病院	山梨県	05532-6-3030
山口精	委員	大雄会病院	愛知県	0586-72-1211
(税制)				
遠山豪	副委員長	遠山病院	三重県	0592-27-6171
有沢源蔵	委員	有沢病院	大阪府	0720-47-2606

岡山義雄	委員	岡山病院	愛知県	052-221-1851
久保真一	委員	聖病院	岐阜県	0582-71-5533
藺部雅一	委員	兵庫医科大学	兵庫県	0798-45-6069
多根要之助	委員	多根病院	大阪府	06-581-1071
藤原拓士	委員	水島中央病院	岡山県	0864-44-3311
伊藤寛	顧問	伊藤会計事務所	愛知県	052-541-0166
森久雄	顧問	森会計事務所	東京都	03-970-2127

### 17. 中小病院管理委員会

岡山義雄	委員長	岡山病院	愛知県	052-221-1851
高山瑩	副委員長	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
遠藤香苗	委員	和歌浦中央病院	和歌山県	0734-44-1600
小原知次郎	委員	小原病院	兵庫県	078-521-1222
柏戸正英	委員	柏戸病院	千葉県	0472-27-8366
加納繁美	委員	加納病院	大阪府	06-351-5381
北村行彦	委員	優生病院	兵庫県	06-488-1851
島津寿秀	委員	甲州中央温泉病院	山梨県	05526-2-3121
武内玄信	委員	大分県立療養所三重病院	大分県	09742-2-0357
遠山豪	委員	遠山病院	三重県	0592-27-6171
中野進	委員	四条外科病院	京都府	075-361-5471
野村秋守	委員	野村病院	東京都	0422-47-4848
菱山博文	委員	福岡城南病院	福岡県	092-531-7031
藤掛敏	委員	藤掛第一病院	岐阜県	0582-65-5255
藤原拓士	委員	水島中央病院	岡山県	0864-44-3311
山崎善陽	委員	健保諫早総合病院	長崎県	09572-2-1380

### 18. 医療事故対策委員会

菱山博文	委員長	福岡城南病院	福岡県	092-531-7031
中後勝	副委員長	高槻病院	大阪府	06-471-9541
勝守昭雄	委員	北品川総合病院	東京都	03-474-1831
菅佐原正平	委員	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260

内藤 均	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
細田 健二	委員	関川総合病院	東京都	03-803-5151

## 19. 医療従事者対策委員会

大野 松次	委員長	京浜総合病院	神奈川県	044-777-3251
川北 祐幸	副委員長	順天堂医院	東京都	03-813-3111
太田 正治	委員	太田総合病院	神奈川県	044-244-0131
小笠原 道夫	委員	河北病院	東京都	03-339-2121
加納 繁美	委員	加納病院	大阪府	06-351-5381

## 20. 定款等諸規定検討委員会

堀口 銀二郎	委員長	堀口整形外科病院	和歌山県	0734-31-1271
内藤 景岳	委員	南大阪病院	大阪府	06-685-0221
野村 秋守	委員	野村病院	東京都	0422-47-4848
堀内 光	委員	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
小原 知次郎	委員	小原病院	兵庫県	078-521-1222
財津 晃	委員	長浜赤十字病院	滋賀県	07496-3-2111
三宅 史郎	委員	国立甲府病院	山梨県	0552-53-6131
落合 勝一郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
石原 信吾	委員	病院管理研究所	東京都	03-203-5327
村上 正敏	委員	日本病院会事務局	東京都	03-265-0077

## 21. 防災対策委員会

北村 行彦	委員長	優生病院	兵庫県	06-488-1851
大倉 正二郎	副委員長	蒲田総合病院	東京都	03-738-8221
有澤 源藏	委員	有沢病院	大阪府	0720-47-2606
上林 三郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
倉持 一雄	委員	自治医科大学	栃木県	02854-4-2111
中谷 ミツコ	委員	三井記念病院	東京都	03-862-9111
平野 栄次	委員	日本大学板橋病院	東京都	03-972-8111

益田啓作	委員	横浜赤十字病院	神奈川県	045-622-0101
松尾月子	委員	日本大学板橋病院	東京都	03-972-8111

## 22. 勤務医対策委員会

河野稔	委員長	北品川総合病院	東京都	03-474-1831
三宅浩之	委員	関東通信病院 電子応用医学研究室	東京都	03-448-6151
東義晴	委員	東京武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111
鈴木覚義	委員	北品川総合病院	東京都	03-474-1831
一条勝夫	委員	自治医科大学	栃木県	02584-4-2111
牧野永域	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
太田正治	委員	太田総合病院	神奈川県	044-244-0131
柏戸正英	委員	柏戸病院	千葉県	0472-27-8366
笹森典雄	委員	牧田総合病院	東京都	03-762-4671
高橋政祺	委員	杏林大学医学部	東京都	0422-47-5511
細田健二	委員	関川総合病院	東京都	03-803-5151
秋島勲郎	委員	野村病院	東京都	0422-47-4848
河井博	委員	河井病院	東京都	03-951-9116
西田義夫	委員	倭成病院	東京都	03-383-1281
天野景明	委員	島田総合病院	東京都	03-752-2101

## 23. 遠山特別委員会（適正入院料検討特別委員会）

遠山豪	委員長	遠山病院	三重県	0592-27-6171
落合勝一郎	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151
野村秋守	委員	野村病院	東京都	0424-91-2121
一条勝夫	委員	自治医科大学病院	栃木県	02854-4-2111
東義晴	委員	東京武蔵野赤十字病院	東京都	0422-32-3111
河井博	委員	河井病院	東京都	03-951-9116
高山塋	委員	高山整形外科病院	東京都	03-607-3260
大道学	委員	大道病院	大阪府	06-962-0061
黒田幸男	委員	東京都済生会中央病院	東京都	03-451-8211
中村智	委員	東京医科大学病院	東京都	03-342-6111

月山和男	委員	月山病院	和歌山県	0734-23-2300
内田卿子	委員	聖路加国際病院	東京都	03-541-5151

# 「供給体制を中心とする

## 地域救急医療の改善方針」

- 一 地域救急医療のレベル
- (一) 基本的レベル
- (二) 関連部門との連携
- (三) 救急病院の機能と組織
- (四) 情報と搬送体制との連携
- 二 病院機能と医療体制に必要なもの
- (一) 病院の機能別活用
- (二) 医療体制に必要なもの
- 三 救急病院の運営と整備
- (一) 運営
- (二) 整備
- 四 救急医療従事者の確保と安全保障
- (一) その確保対策
- (二) その安全保障
- 五 地域救急医療のPRと啓蒙宣伝
- 六 医療紛争
- 七 地域（救急）医療協議会または医療問題懇談会
- 八 救急病院を中心とする地域救急医療体制の改善

昭和 年 月 日

(社)日本病院会

制度委員会  
委員長

左奈田

幸夫

東京消防庁総監 殿

申 入 書

六月四日付の日本医事新報に発表された貴職の本会に関する談話は、日本病院会の設立と法人認可に至る経緯を曲解したものであるばかりでなく、日本病院会の名譽と權威を著しく傷つけるものであります。日本病院会は二つの協会の合同以来、病院の発展のため血の滲むような努力を続けてまいりました。その間、菊地全日病一派の策動のため、法人認可に至るまで筆舌につくせぬ難行苦行を重ねてきたことは全医療人周知の事実であります。

それにもかかわらず約二千の病院が新しい旗の下に参集し、病院医療の発展向上のため数々の事業を行なう一方、五月にはアジアで初めての国際病院学会を主催し、世界の病院人約二千人を集めて極めて盛會裡に終了し、日本病院会の底力を内外に示したのであります。

この国際的な催しに対して、国際儀礼からいってもかつ学会の性格からいっても厚生省は自ら参加協力し、その成果を医療行政に反映させるべきであります。しかるに厚生大臣はもとより、医務局長も出席せず、国際学会が終了した直後の五月二十七日、厚生省において突如として記者会見を行ない、日本病院会を誹謗するか如き談話を発表されたことは、いかなる意図があつたものかは別として、少なくともかかる時期にかかる談話を発表されたことは理解に苦しむものであります。もし日本医事新報に掲載された記事が事実であれば、日本病院会は貴職が医療行政の最高責任者であることを悲しむと同時に、厚生省を信頼できなくなつたことを悲しむものであります。

もしまた同記事が事実を反するものであれば、その旨ご回答賜わりたいと存じます。

昭和五十二年六月十五日

社団法人 日本病院会  
会長 阿久津 慎

厚生省医務局長

石丸隆治 殿



昭和52年10月15日

厚生大臣

渡辺美智雄殿

社団法人日本病院会

会長 左奈田幸夫

## 看護大学設置ならびに看護婦等養成施設 運営費補助増額に関する要望

### 1. 国立看護大学の増設について

わが国の看護教育の主流は明治以来、各種学校に位置づけられた養成方式であり、戦後ようやく大学教育が実施されるようになりましたが、諸外国に比べその数は誠に少なく、開発途上国においてさえ設置されている看護婦の大学院は1校もない現状であります。

健康の保持増進、疾病の予防・治療、リハビリテーションと一貫した看護教育を行うためには、4年の大学教育が必要であり、更に看護業務の高度化対策や、看護管理者の管理能力の向上は、医学の進歩に不可欠な条件であります。従って今後ますます高度化する医療に携わる看護婦の教育は、大学教育によって行れるべきと考え、ここに、国立看護大学の増設を要望いたします。

### 2. 看護婦等養成施設運営費補助増額について

看護婦等養成施設運営費補助は、昭和46年から開始されて以来毎年増額されてはおりますが、文部省の学校教育に比べて格段の差があり、専任教員や講師に要する人件費は、施設運営費の80%を上回っております。しかもなお、民間においては十分な支給額となっていないため、専任教員の確保は想像以上の困難に直面しており、外来講師の依頼にも多大の支障をきたしております。

従って教育に必要な教材等の整備も不十分な状態で、公的施設と民間施設との教育環境の格差は著しく、看護婦の質の低下と数の不足は一層深刻になってゆくことは自明であります。なお、高齢者の病床占床率の増加や、看護婦不足による病棟閉鎖が国民医療に憂慮すべき事態をきたしております。国民の保健衛生に寄与するために、看護婦の質の向上と数の確保は養成施設の拡充と円滑な運営なしには期待できません。

ここに下記事項をあげご尽力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 国立看護大学の増設
2. 看護婦等養成施設運営費補助の大巾増額
3. 看護臨床実習経費の大巾増額

以上

# 決 議

国民医療も健全に維持するたのには診療報酬が近代医療の遂行に必要とされる原価に對して當時適正に維持することが必須の要件である。

よるに、現行診療報酬は昭和五十二年二月の経済指数を基に過去の経営赤字を後追いつ的に改正したにもとまり、爾後今日に至る医療水準の向上と物価・人体費の上昇に伴なう医療原価の増高がまことに加味されてゐる。

このため病院は診療報酬不適正を原因とする経営危機を直に機能維持に重大な支障をきたしてゐる。

ついで、社会保険診療といふ公衆的な責任を担つて病院人として目下の医療荒廃をこれ以上放置するとは許されない。

よる、われわれは生命の尊厳を医療の場において守るため本会の名において左記事項の實現を当局に強く要求するものである。

## 記

- 一 入院料を中心として20%以上の医療費設定をなすに実施せよ
- 一 医療技術料に對し適正な診療報酬を設定せよ
- 一 施設管理料・安全管理料を新設せよ
- 一 病院税制も抜本的に改正せよ

## 右決議する

昭和五十二年十月二十六日

社団法人日本病院会  
病院医療危機対策委員会

厚生大臣 渡辺美智雄 殿

大臣 坊 秀 男 殿

# 医療法人の税率軽減に関する請願書

請願者住所

東京都千代田区二番町2番地(番町共済会館内)

氏名

社団法人日本病院会

会長 左 奈 田 幸 夫

## 紹介議員

## 請願事項

一、一定の厳格な定款及び寄附行為を具備する医療法人社団ならびに医療法人財団について法人税率を二三%に軽減して下さい。

(1) 医療法人社団であつて、とくに定款上、その解散時における残余財産の帰属権利を払込出資額に限定し、その残余は国・地方公共団体もしくは同種の法人に帰属させる旨の定めがあり、かつ当該条項を変更した場合、その時において、その権利帰属者に贈与税を課せられることを含めた、その他の承認条件を整え、所轄税務署経由の上、国税局長に承認申請を予め提出してその承認を受けた法人については、その承認された事業年度より事業協同組合と同じく、法人税率を二三パーセントとする。

(2) 医療法人財団で、とくに寄附行為上、解散時に残余財産の帰属を国・地方公共団体もしくは同種の法人に帰属させる旨の定めがあり、かつ当該条項変更の場合について前記(1)同様の承認を受けた法人についても(1)と同じ税率とする。

二、医療法人社団における相続税・贈与税の課税価格は払込出資額によることとし、相続税財産評価基準通達の現行「一九六」によるのを「一九五」と同一の取扱いとするよう改正して下さい。

三、地方税における事業税の課税標準額の統一と固定資産税の減免措置を構じてください。

(1) 事業税の課税標準額算出について現在、都道府県間においてまちまちであり、統一されていない。課税の衡平を失することのないよう計算基準を統一にすること。

(2) 固定資産税の減免は地方公共団体においてすでに実施されるところもあるが、地方税の一般基準としてその軽減措置と不動産取得税の課税標準もあわせて軽減するよう措置すること。

昭和五二年一〇月 日

衆議院議長

保 利 茂 殿

参議院議長

安 井 謙 殿

## 特定の医療法人に関する請願書

請願者住所 東京都千代田区二番町2番地(番町共済会館内)

氏名 社団法人日本病院会

会長 左奈田幸夫

紹介議員

### 請願事項

一、租税特別措置法第六七条の二「特定の医療法人」にかかる承認基準を左のとおり緩和してください。

- (1) 役員の人的構成を親族等五〇パーセント以下とする。
- (2) 産婦人科・整形外科等の社会保険診療以外の診療については、社会保険診療単価以下までは労災収入と同じく、社会保険診療比率八〇パーセント以内に含める。
- (3) 租税特別措置法第四〇条と併せて、理事長・院長等、病院管理者ならびにこれに準ずる者の居宅の取扱いについては特別の利益を与えたものとみなさないものとする。
- (4) 理事長・院長の月額給与額は同族関係者以外の医師給与年額の月額換算の三割を超えない範囲まで認めるものとする。
- (5) 労災以外の自由診療報酬単価については地域医師会の協定報酬額以内の金額を主収入の限り、これを認めるものとする。
- (6) 民法第三四条の医療保健業を主業務とする財団法人等にあつては、法人税施行令第一条第一項二九号ならびに同法施行規則第六条に列挙する諸条件に該当する事項を充たした場合、収益事業から除外されて非課税とされている。  
特定の医療法人についても、前記事項を充足していることを条件に法人税を非課税措置を構すること。

昭和五二年一〇月二八日

衆議院議長

保 利 茂 殿

参議院議長

安 井 謙 殿

病院建物・建物付属設備の耐用年数短縮等に関する請願書

請願者住所 東京都千代田区二番町2番地(番町共済会館内)

氏名 社団法人 日本病院会

会長 左 奈 田 幸 夫

紹介議員

請願事項

- 一、病院の建物・建物付属設備を租税特別措置法に規定する登録ホテル並に取扱い、同一の耐用年数が適用できるようにしていただきたい。
- 二、高額医療機械につき、租税特別措置法第一二条の三、第四五条の二、対象の機械に含め五分の一特別償却ができるよう措置していただきたい。
- 三、医療の高度化に著効ある医療機器につき、その機械名称を指定し「特定設備等の特別償却」(租税特別措置法第一条、第四三条)に規定する四分の一償却ができるよう措置していただきたい。
- 四、耐用年数表の分類基準を實態に適合するよう改正するとともに耐用年数自体も機能的減価を考慮し、全面的に短縮していただきたい。
- 五、医師ならびに看護婦宿舍の新築で、かつ病院所在地より一キロメートル以内に建設されるものについては現行の従業員居住用から除外し、従来通り割増償却の対象にしてください。
- 六、救急医療遂行のため新增設し、かつ、その目的で使用される建物・建物付属設備については、当該資本的支出額の二分の一に相当する金額を限度とする特別償却制度を創設していただきたい。

請願の理由

別紙理由書のとおり

昭和五二年一〇月 日

衆議院議長

保 利 茂 殿

参議院議長

安 井 謙 殿

# 病院建物・建物附属設備の耐用年数短縮等に関する 請 願 の 理 由 書

## 序 文

現在わが国における医療制度は予防医学を含めて国民の健康と福祉に最も重要な役割を果たしている。

日本国憲法第25条の2「国はすべての生活部面について社会福祉、社会保障および公衆衛生の向上および増進に努めなければならない」とする条文を引用するまでもなく、重化学工業、農業を中心とする産業に対する諸政策と同じく、国民の健康と福祉については重要な政治課題であると考えられる。

とくに医療制度を支える医療施設のうち地域社会に密着し、極めて広範に、且つ重要な役割を果たしている私的病院に対しては、税制上の配慮は全くなきにひとしい。日進月歩の医学の進歩に対応し、医療施設の近代的な質的高度化と入院患者の生活環境の向上は国家の一貫した政治課題として、税制面においても、一般企業以上の取扱いをされんことを要望し、これを請願する次第である。

## 1. 所得税、法人税における改正要望事項

① 病院は不特定多数の外来患者と、1日24時間使用の入院患者の収容による使用によって、その物理的減耗度が激しいばかりでなく、医学の急速な進歩に対応し、且つ入院患者の生活環境の改善向上を図る諸設備の更新および新增設と医療機器における急速な機能的向上に起因する機能的減耗に対する更新と新增設は年々著増しているのである。

したがって現行の法定耐用年数では、建物、建物附属設備および医療機器全体について、現実に不適合の状況にあり「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（大蔵省令）「租税特別措置法関係法令、同関係通達」を中心とする改正によって根本的に是正されることを要望する次第である。

イ、建物、建物附属設備は、現行の租税特別措置法における「登録ホテル」の減価償却資産耐用年数と同一とされたい。

	病院(現行)	登録ホテル
①1. 建 物	50年	30年
鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造のもの		
建物附属設備	15年	10年
1. 電気設備(蓄電池電源設備を除く) 給排水設備 衛生設備、ガス設備 暖冷房設備、通風設備 ボイラー設備		

2. 暖冷房設備(冷凍機出力22Kw以下)	13年	8年
3. 昇降機設備 エレベーター	17年	10年
エスカレーター	15年	10年

その他構築物、機械装置、器具、備品(重要な一部)は通常の法定耐用年数の $\frac{3}{5}$ を下らない範囲に短縮されている。

(註)2.

登録ホテルに対する耐用年数短縮の租税特別措置法による法令は我国の外貨事情不足時における外人客招致を主目的とする政策に対応すべく議員立法により立法化されたものであり、今日、外貨保有高常時110憶ドル前後の情勢にあってもなお依然として継続されている。

これに対し病院は昭和49年4月より適用「細目」の帰属変更によって若干短縮されたが(例、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造60年が50年)反面新築耐火建築物の5年間普通償却額と同額の割増償却額を認めていた措法48条(法人税)、措法15条(所得税)の租税特別措置は廃止されてしまった。

しかし同法では、なお倉庫業者の近代化倉庫、穀物用サイロ(容積200 $m^2$ 以上)、トラックターミナルの荷役場の割増償却は依然として存続しているのである。

病院は木造、金属造りより鉄筋コンクリート造等へ、又建物附属設備も冷暖房設備の新設等の改善が急増し、国民の健康と衛生並びに福祉に著しく貢献しつつあるとき福祉より経済優先の税制志向には納得できないのである。

ロ、現在医療機器は税法上器具、備品の範疇に属するため1台当り50万円以上のものも「中小企業者等の機械の割増償却」措法45条の2(法人税)、措法12条の3(所得税)による現行の取得価額 $\frac{1}{5}$ の特別償却は認められていない。

この「機械及び装置」のうち、とくに「医療機器」を含めて特別償却を可能にされたい。

ハ、とくに医療内容の高度化に著効ある医療機器については、その機器名称を指定し、「特定設備等の特別償却」措法43条(法人税)、措法11条(所得税)による現行の取得価額 $\frac{1}{4}$ の特別償却を可能にされたい。

(註)1. 電子計算機内臓スキャナー	取得価額	約 2億円
カセットレスX線テレビ装置	取得価額	約 248万円
X線テレビ装置	取得価額	約 148百万円～245百万円
血液自動分析装置	取得価額	約 345万円
多用途監視記録装置	取得価額	約 14万円
脳血管拡大連続撮影装置	取得価額	約 243百万円
多人数透析液供給装置	取得価額	約 24万円

等高額であるが医療能率を飛躍的に高めている。

ニ、医療機器の耐用年数はかなり旧式の手工業的医療業時代の「細目」になっており、10項目に分類されているにすぎない。

現代医療設備の進歩は著しく、この分類基準に適合しないため「その他のもの」の主として金属製のもの 10年  
その他のもの 5年 等による耐用年数を適用している実情である。

したがって

- (1) IC回路等高度の電子部品を使用する機器
- (2) 電子管は使用しないが高度の電機系統の部品を使用する機器
- (3) 放射線同位元素照射の諸装置(防護壁を含む)
- (4) 監視記録装置等の高度の看護機器装置
- (5) X線テレビ装置〔註1レントゲンは6年であり、テレビジョンは5年である〕
- (6) 人工透析諸装置
- (7) その他の諸装置

について分類基準を実績にあったものとするとともに、その耐用年数についても機能的減価を含めて再検討した上で全面的に短縮されたい。

ホ、医師社宅、看護婦寄宿舍の新築割増償却の適用を除外されたが診療の緊急性を考慮して病院敷地内に建設されるか、若しくは、1 Km以内の地域に建設されるのが常態となっている。

したがって医師並びに看護婦寄宿舍の新築で且つ病院所在地より1 Km以内に建設されるものについては従前通り割増償却の対象として現行の従業員居住用より除外して適用されたい。

註1. 他の製造業卸小売業等の従業員宿舍は、その事業場より離れた郊外の土地等に建設される例が大半であるが、病院によっては、大事故等、災害発生と病状急変に備えて、当直医以外に、その主治医および看護婦を病院周辺に居住せしめることが、その職責遂行上常態となっている。

したがって新築貸家住宅そのものの政策目的と直接的には一致しないが、国民福祉の重要性から鑑みて割増償却の対象とし、その建設を促進すべきものと思料される。

ヘ、救急診療体制を充実する促進政策として、救急用診療に主としてあてる目的をもって新增設し且つその使用に供されている建物、建物附属設備については当該資本的支出額の $\frac{1}{2}$ に相当する金額を限度とする特別償却制度を創設すること。



昭和53年2月6日

厚生大臣  
小沢辰男 殿

社団法人 日本病院会  
会長 左奈田 幸夫

## 要 望 書

減速経済の困難なる状況のもとにおいて、このたびの診療報酬改訂が行われ、特に病院部門に関し、種々ご配慮を賜ったことを厚く御礼申し上げます。ただし次の事項については、病院として非常に誤解非難され、その対応に苦慮しているところでありますので、その間の実情ご賢察の上よろしく善処方を要望いたします。

### 記

1. 室料は1,000円となりましたが、適正な室料とは如何程のものでしょうか。3人以上収容の病室で差額をとった場合は、保険医療機関の指定取消しをすると報道されております。
2. 3人以上収容する病室を称して大部屋としておられますが、わが国の実態からみて3人以上の部屋においても状況に応じて基準外料金を徴収しなければ、到底経営が成り立たず、同時に病室の管理運営にも支障をきたします。
3. 付添看護の廃止問題については看護要員の不足と低医療費がその根源をなすもので、これらの問題の解決が先決と考えます。